

まえがき

この報告書は、平成20年度に実施した健康保険被保険者実態調査の結果をまとめたものである。

この調査は、全国健康保険協会管掌健康保険（以下「協会管掌健康保険」）及び健康保険組合管掌健康保険（以下「組合管掌健康保険」）の被保険者について、その年齢、標準報酬月額、標準賞与額、所属している事業所の業態、規模及び被扶養者の年齢、続柄等を調査し、健康保険制度の健全な発展を期するための基礎資料を得るため、昭和41年度から実施され、今回で43回目を数えるに至っている。なお、今回は、平成20年4月の後期高齢者医療制度施行後初めての調査結果である。

この調査結果は、健康保険の被保険者や被扶養者の実態を示すものであり、また受診率や医療費等を分析する際に欠かすことのできない基礎的統計である。

この報告書が制度運営の基礎資料として広く各方面に利用されるならば、誠に幸いである。

最後に、この調査の実施にあたり、ご協力をいただいた健康保険組合の担当者の方々及び関係者各位に対し、深く感謝の意を表する次第である。

平成21年12月

厚生労働省保険局調査課長

村山 令二

目 次

まえがき

第1章 調査の概要	6
-----------	---

第2章 調査結果の概要	8
-------------	---

1. 加入者の年齢構成	8
2. 被保険者の年齢構成	10
3. 被扶養者の年齢構成	12
4. 年齢階級別扶養率	15
5. 標準報酬月額別扶養率	18
6. 総報酬額階級別扶養率	20
7. 年齢階級別平均標準報酬月額	21
8. 年齢階級別平均標準賞与額	24
9. 年齢階級別平均総報酬額	28
10. 年齢階級別標準賞与額0円の被保険者の割合	31
11. 年齢階級別、被保険者期間別構成等	32
12. 業態別被保険者構成割合、扶養率等	34
13. 規模別被保険者構成割合、扶養率等	35
14. 被保険者数の推移について	36
15. コーホートによる続柄別扶養率の分析について	48

第3章 統計表

1. 協会管掌健康保険（全数統計）	55
-------------------	----

第1表	被保険者の年齢階級別・性別、被保険者数、被扶養者の性別、被扶養者数、扶養率、平均標準報酬月額、平均標準賞与額及び平均総報酬額	57
第2表	標準報酬月額別・被保険者の年齢階級別・性別、被保険者数及び平均標準報酬月額	58
第3表	標準賞与額階級別・被保険者の年齢階級別・性別、被保険者数及び平均標準賞与額	64
第4表	総報酬額階級別・被保険者の年齢階級別・性別、被保険者数及び平均総報酬額	70
第5表	標準報酬月額別・被扶養者数別・性別、被保険者数及び平均標準報酬月額	77
第6表	標準賞与額階級別・被扶養者数別・性別、被保険者数及び平均標準賞与額	81
第7表	都道府県別・被保険者の年齢階級別・性別、被保険者数、平均年齢、被扶養者数及び扶養率	84

第8表	事業所の業態別・被保険者の年齢階級別・性別、被保険者数、 平均年齢及び被保険者数の構成比	90
第9表	被保険者の年齢階級別・事業所の規模別・性別、 被保険者数及び平均年齢	96
第10表	被扶養者の年齢階級別・性別・続柄別・被保険者の性別、 被扶養者数	103
第11表	被保険者の年齢階級別・性別・続柄別、被扶養者数	104
第12表	被保険者の年齢階級別・性別・被扶養者の年齢階級別・性別、 被扶養者数	106
第13表	標準報酬月額別・事業所の規模別・性別、被保険者数、 平均標準報酬月額、被扶養者数	112
第14表	標準賞与額階級別・事業所の規模別・性別、被保険者数、 平均標準賞与額、被扶養者数	118
第15表	被保険者－被扶養者別・年齢階級別、加入者数	124
第16表	被保険者－被扶養者別・年齢階級別、脱退者数	125
2.	組合管掌健康保険（抽出率 1/500）	127
第1表	被保険者の年齢階級別・性別、被保険者数、被扶養者の性別、 被扶養者数、扶養率、平均標準報酬月額、平均標準賞与額 及び平均総報酬額	129
第2表	標準報酬月額別・被保険者の年齢階級別・性別、被保険者数 及び平均標準報酬月額	130
第3表	標準賞与額階級別・被保険者の年齢階級別・性別、被保険者数 及び平均標準賞与額	136
第4表	総報酬額階級別・被保険者の年齢階級別・性別、被保険者数 及び平均総報酬額	142
第5表	標準報酬月額別・被扶養者数別・性別、被保険者数 及び平均標準報酬月額	149
第6表	標準賞与額階級別・被扶養者数別・性別、被保険者数 及び平均標準賞与額	153
第7表	都道府県別・被保険者の年齢階級別・性別、被保険者数、 平均年齢、被扶養者数及び扶養率	156
第8表	事業所の業態別・被保険者の年齢階級別・性別、被保険者数、 平均年齢及び被保険者数の構成比	162
第9表	被保険者の年齢階級別・事業所の規模別・性別、 被保険者数及び平均年齢	168
第10表	被扶養者の年齢階級別・性別・続柄別・被保険者の性別、 被扶養者数	175
第11表	被保険者の年齢階級別・性別・続柄別、被扶養者数	176
第12表	被保険者の年齢階級別・性別・被扶養者の年齢階級別・性別、 被扶養者数	178

第13表	標準報酬月額別・事業所の規模別・性別、被保険者数、 平均標準報酬月額、被扶養者数	184
第14表	標準賞与額階級別・事業所の規模別・性別、被保険者数、 平均標準賞与額、被扶養者数	190
第15表	被保険者－被扶養者別・年齢階級別、加入者数	196
第16表	被保険者－被扶養者別・年齢階級別、脱退者数	197

第 1 章 調査の概要

1. 調査の目的

この調査は、健康保険の被保険者の年齢、標準報酬月額、標準賞与額、その所属している事業所の業態、規模及び被扶養者の年齢、続柄、異動の状況を調査し、制度運営のための基礎資料を得ることを目的とする。

2. 調査の対象及び調査客体

- (1) 調査対象は、平成20年10月1日現在の協会管掌健康保険（平成20年9月30日までは政府管掌健康保険。以下同じ。）及び組合管掌健康保険の被保険者（健康保険法第3条第2項の規定による被保険者を除く。以下「被保険者」という。）並びに、協会管掌健康保険にあっては平成19年10月から平成20年9月までの間に処理した被保険者資格取得届及び被保険者資格喪失届により異動した者（以下「異動した者」という。）とし、組合管掌健康保険にあっては、平成20年10月中に異動した者とする（ただし、任意継続の資格取得者を除く。）。
- (2) 調査客体は、協会管掌健康保険にあっては被保険者及び異動した者それぞれの全数、組合管掌健康保険にあっては各健康保険組合（支部を有する健康保険組合にあっては支部）ごとに当該健康保険組合の被保険者の500分の1、異動した者の50分の1を系統抽出した者とする。

（参考）平成20年4月に後期高齢者医療制度が施行されたことにより、後期高齢者広域連合の区域内に住所を有する75歳以上の者等はそれまで加入していた医療保険の被保険者、被扶養者の資格を喪失し、後期高齢者広域連合が行う後期高齢者医療の被保険者になった。そのため、平成20年度調査より75歳以上の加入者（被保険者及び被扶養者をいう。以下同じ。）は原則健康保険からいなくなる。

ただし、外国に住所を有する加入者は引き続き健康保険の加入者となることから、75歳以上の加入者も若干存在する。

3. 調査時点

調査時点は、被保険者は平成20年10月1日現在、異動した者は、協会管掌健康保険にあっては平成19年10月から平成20年9月までの間、組合管掌健康保険にあっては平成20年10月中とした。

4. 調査票及び調査事項

組合管掌健康保険における調査票は別に掲げる様式によった。調査事項は調査票の記載事項とした。なお、協会管掌健康保険については、全国健康保険協会について集計表の提出を受けた。

5. 集計及び解析

集計及び解析は厚生労働省保険局において行った。

平成 20 年度 健康保険被保険者実態調査調査票

秘

総務省承認－NO. 27387
承認期限 平成22年2月28日まで

健康保険組合名 _____

適用区分	1. 強 制		2. 任 意		3. 任意継続		4. 特例退職	
事業所	都道府 県 番 号		業 態 番 号		事業所の 被保険者数			人

被 保 険 者	性 別	1. 男 2. 女	生 年 月	1. 明治 2. 大正 3. 昭和 4. 平成	年	月	被保険者等の区分		1. 被保険者 2. 加入者 3. 脱退者
	資格取 得時期	1. 19年9月以前 2. 19年10月以降				標準報 酬月額	千円	標準 賞与額	千円
	介護保険	1. 該当 2. 適用除外 ()				基準収入額適用申請		1. 該当 2. 不該当	
	加入者	1. 協会 2. 組合 3. 共済 4. 国保 5. その他 6. 不詳							
	脱退者	1. 協会 2. 組合 3. 共済 4. 国保 5. その他 6. 不詳 7. 死亡 8. 後期高齢者							

被 扶 養 者	性 別	生 年 月				続 柄				扶養開始時期				介護保険			
	1	1. 男 2. 女	1. 明 3. 昭 2. 大 4. 平		年		月	1. 配偶者 2. 直系尊属 3. 子 4. その他	1. 19年9月以前 2. 19年10月以降	1. 該当 2. 適用除外 ()							
	2	1. 男 2. 女	1. 明 3. 昭 2. 大 4. 平		年		月	1. 配偶者 2. 直系尊属 3. 子 4. その他	1. 19年9月以前 2. 19年10月以降	1. 該当 2. 適用除外 ()							
	3	1. 男 2. 女	1. 明 3. 昭 2. 大 4. 平		年		月	1. 配偶者 2. 直系尊属 3. 子 4. その他	1. 19年9月以前 2. 19年10月以降	1. 該当 2. 適用除外 ()							
	4	1. 男 2. 女	1. 明 3. 昭 2. 大 4. 平		年		月	1. 配偶者 2. 直系尊属 3. 子 4. その他	1. 19年9月以前 2. 19年10月以降	1. 該当 2. 適用除外 ()							
	5	1. 男 2. 女	1. 明 3. 昭 2. 大 4. 平		年		月	1. 配偶者 2. 直系尊属 3. 子 4. その他	1. 19年9月以前 2. 19年10月以降	1. 該当 2. 適用除外 ()							
	6	1. 男 2. 女	1. 明 3. 昭 2. 大 4. 平		年		月	1. 配偶者 2. 直系尊属 3. 子 4. その他	1. 19年9月以前 2. 19年10月以降	1. 該当 2. 適用除外 ()							
	7	1. 男 2. 女	1. 明 3. 昭 2. 大 4. 平		年		月	1. 配偶者 2. 直系尊属 3. 子 4. その他	1. 19年9月以前 2. 19年10月以降	1. 該当 2. 適用除外 ()							
	8	1. 男 2. 女	1. 明 3. 昭 2. 大 4. 平		年		月	1. 配偶者 2. 直系尊属 3. 子 4. その他	1. 19年9月以前 2. 19年10月以降	1. 該当 2. 適用除外 ()							

被保険者証	記号		番号	
-------	----	--	----	--

注) 1. 数字を選択する箇所については、該当数字及び文字を○で囲むこと。
2. 数字を記入する箇所については、算用数字で右詰めに記入すること。

第2章 調査結果の概要

本調査では、協会管掌健康保険（以下「協会」という。）にあっては全数、組合管掌健康保険（以下「組合」という。）にあっては500分の1の抽出率で抽出した被保険者（協会19,873,239人、組合31,974人）及び協会、組合についてそれぞれ全数、50分の1の抽出率で抽出した異動した者（協会9,670,728人、組合10,099人）について集計を行った。

なお、平成20年9月末日現在の毎月事業状況報告書の被保険者数①と調査客体数②を比較すると、次表のとおりである。

	被保険者数①	調査客体数②	抽出倍率（①／②）
協会健保	19,873,239	19,873,239	1.0
組合健保	16,112,209	31,974	503.9

（注）※被保険者数については速報値である。

1. 加入者の年齢構成

健康保険の加入者の年齢構成について、わが国の総人口及び75歳未満総人口をそれぞれ100%とした場合の年齢構成と比較したものが表1及び図1である。

健康保険の加入者の年齢構成は総人口及び75歳未満総人口の年齢構成と比較すると低い年齢の割合が高く、その中でも組合の年齢構成は協会よりもその傾向が大きくなっている。

後期高齢者医療制度の導入に伴い、原則75歳未満の者のみ健康保険の加入者になりうることから、75歳未満総人口を基準としてみると、20歳未満では、75歳未満総人口の20.4%に対し、協会は22.9%、組合は25.0%とともに高く、また、20歳以上40歳未満でも75歳未満総人口の29.1%に比べ、協会34.2%、組合36.7%と高くなっている。

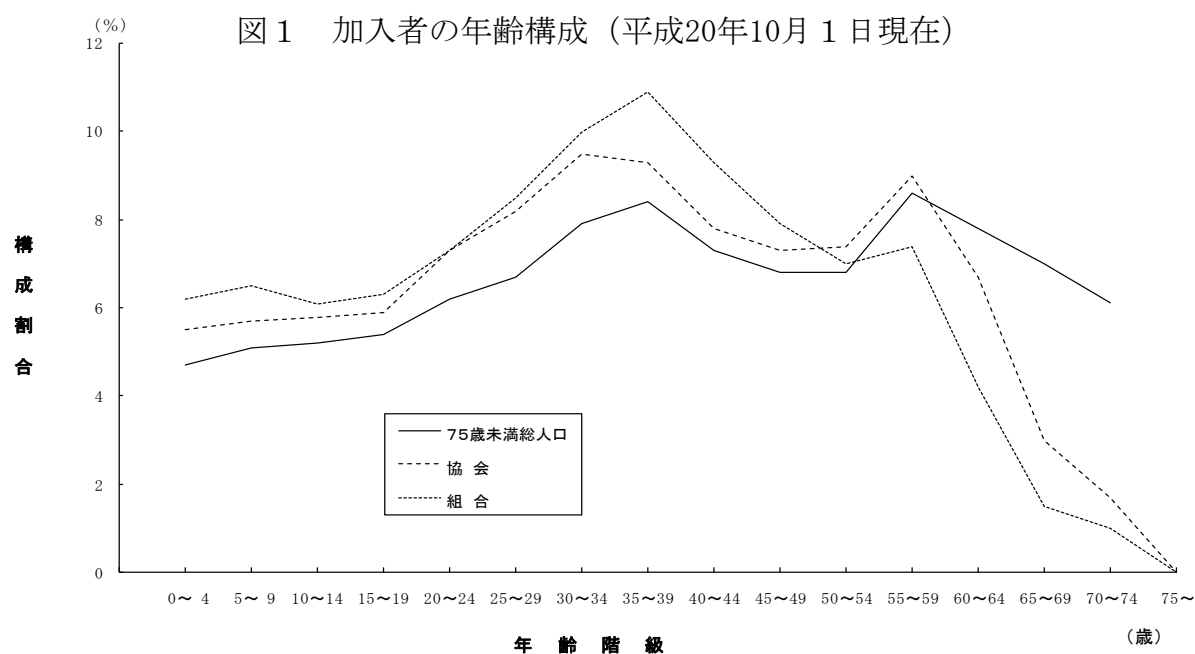
しかし、40歳以上65歳未満では、75歳未満総人口の37.4%に対し、協会は38.2%と高いが、組合は35.7%と低くなっており、さらに65歳以上75歳未満では、75歳未満総人口の13.1%に対し、協会4.7%、組合2.5%とともに低くなっている。

また、年齢5歳階級別にみると、協会では60歳未満、組合では55歳未満の年齢階級で75歳未満総人口における構成割合を上回っているが、それ以降の年齢階級では75歳未満総人口における構成割合が協会及び組合を上回っている。

表1 総人口及び健保加入者の年齢構成（平成20年10月1日現在）
（単位：％）

年 齢 階 級	総人口	75歳未満 総人口	健 康 保 険	
			協 会	組 合
総 数	100.0	100.0	100.0	100.0
0～4歳	4.2	4.7	5.5	6.2
5～9	4.5	5.1	5.7	6.5
10～14	4.7	5.2	5.8	6.1
15～19	4.8	5.4	5.9	6.3
20～24	5.6	6.2	7.3	7.3
25～29	6.0	6.7	8.2	8.5
30～34	7.0	7.9	9.5	10.0
35～39	7.5	8.4	9.3	10.9
40～44	6.6	7.3	7.8	9.3
45～49	6.1	6.8	7.3	7.9
50～54	6.1	6.8	7.4	7.0
55～59	7.7	8.6	9.0	7.4
60～64	7.0	7.8	6.7	4.2
65～69	6.3	7.0	3.0	1.5
70～74	5.4	6.1	1.7	1.0
75歳以上	10.4	・	0.0	0.0
(再 掲)				
0～19歳	18.3	20.4	22.9	25.0
うち未就学児	6.0	6.7	7.2	8.2
20～39	26.1	29.1	34.2	36.7
40～64	33.5	37.4	38.2	35.7
65～74	11.7	13.1	4.7	2.5

（注）「総人口」は、総務省統計局「平成20年10月1日現在推計人口」を用いている。



2. 被保険者の年齢構成

被保険者の年齢階級別構成割合及び平均年齢について、平成10年と平成15年～平成20年までの6年間の推移を示したものが表2である。なお、平成20年度より、後期高齢者医療制度の導入に伴い原則75歳以上の加入者がいないため、平成19年については75歳以上の加入者を除いた場合の年齢構成も併せて示している。

20歳未満の構成割合は、以前は高校、大学進学率の上昇等の影響によって協会、組合ともに減少傾向にあったが、近年、協会は緩やかな減少傾向、組合は緩やかな増加傾向となっており、男女計についてみると、平成20年には、協会が0.8%、組合が0.9%となっている。

20歳以上40歳未満の年齢構成は、近年協会、組合ともにおおむね横ばいとなっており、平成20年には、協会は44.1%、組合は50.2%となっている。

40歳以上65歳未満の年齢構成についても、近年、協会、組合ともにおおむね横ばい状態であり、平成20年には、協会50.6%、組合46.6%となっている。

65歳以上75歳未満の年齢構成をみると、協会は近年減少傾向にあったが、平成18年より増加に転じ、平成20年は4.6%、一方、組合も増加傾向にあり2.4%となっている。

平成20年の年齢構成を男女別にみると、協会の男性では30歳以上35歳未満の割合が最も高く13.2%、次に35歳以上40歳未満の13.1%となっており、協会の女性では25歳以上30歳未満の割合が最も高く13.3%、次に30歳以上35歳未満の12.2%となっている。一方、組合の男性では、35歳以上40歳未満の割合が最も高く14.9%、次に30歳以上35歳未満の13.1%となっており、また、女性では25歳以上30歳未満の割合が最も高く17.0%、次に高いのが30歳以上35歳未満の16.8%となっており、その2つに25歳未満の階級を加えた35歳未満の割合で全体の5割近くを占めている。

なお、平均年齢は、協会、組合ともに長期的に上昇傾向にあり、平成20年度は協会43.3歳、組合41.1歳となっている。また、男女別の平均年齢は、協会の男性が44.2歳、女性が41.9歳、組合の男性が42.4歳、女性が38.1歳であり、組合の方が協会よりも男女間の年齢差が大きくなっている。

表2 被保険者の年齢構成（各年10月1日現在）

(1) 協会

(単位：％)

年齢階級	平成 10年	15年	16年	17年	18年	19年	19年 (75歳以上 除く)	20年		
								総数	男性	女性
総 数	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0
15～19歳	1.5	0.9	0.9	0.9	0.8	0.8	0.8	0.8	0.6	1.0
20～24	11.8	8.4	8.2	8.1	8.0	7.8	7.8	7.5	5.8	10.3
25～29	12.5	13.6	13.2	12.6	12.2	11.8	11.9	11.6	10.5	13.3
30～34	9.5	12.3	12.8	13.0	13.1	12.9	13.1	12.8	13.2	12.2
35～39	9.2	9.9	10.2	10.5	11.2	11.6	11.8	12.2	13.1	10.8
40～44	10.0	9.7	9.7	10.0	9.8	10.0	10.1	10.4	10.5	10.3
45～49	13.3	10.1	10.1	10.0	9.9	10.0	10.1	10.1	9.7	10.8
50～54	10.6	12.2	11.4	10.8	10.4	10.0	10.2	10.0	9.7	10.4
55～59	9.9	10.8	11.4	12.1	12.7	12.2	12.3	11.7	11.8	11.3
60～64	6.6	6.8	7.0	6.9	6.6	7.4	7.5	8.4	9.6	6.4
65～69	3.2	2.9	2.7	2.7	2.8	3.0	3.0	3.2	3.8	2.3
70～74	1.3	1.3	1.3	1.3	1.3	1.3	1.4	1.3	1.5	1.0
75歳以上	0.7	1.0	1.1	1.1	1.1	1.2	・	0.0	0.0	0.0
(再 掲)										
20～39歳	42.9	44.1	44.4	44.2	44.4	44.1	44.6	44.1	42.6	46.5
40～64	50.4	49.6	49.6	49.8	49.5	49.6	50.2	50.6	51.4	49.2
65～74	4.4	4.2	4.0	4.0	4.2	4.3	4.4	4.6	5.4	3.2
平均年齢（歳）	42.6	43.0	43.1	43.2	43.3	43.5	43.1	43.3	44.2	41.9

(注) 平成19年までの数値は、男女総数のものである。

(2) 組合

(単位：％)

年齢階級	平成 10年	15年	16年	17年	18年	19年	19年 (75歳以上 除く)	20年		
								総数	男性	女性
総 数	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0
15～19歳	1.1	0.6	0.6	0.7	0.8	0.8	0.8	0.9	0.8	1.1
20～24	10.8	7.5	7.6	7.4	7.6	8.0	8.0	8.0	6.2	12.2
25～29	16.6	14.5	14.2	14.1	13.6	13.5	13.5	13.3	11.6	17.0
30～34	12.9	16.0	15.7	16.0	15.1	14.8	14.8	14.2	13.1	16.8
35～39	10.8	13.1	13.4	13.4	14.4	14.5	14.5	14.7	14.9	14.2
40～44	9.8	10.9	11.3	11.8	11.8	12.1	12.1	12.2	13.0	10.6
45～49	12.2	10.2	10.1	9.9	10.2	10.2	10.2	10.5	11.0	9.4
50～54	11.2	11.6	10.8	9.9	9.7	9.0	9.1	9.0	9.7	7.4
55～59	9.4	9.4	9.6	10.2	10.5	10.1	10.2	9.5	10.5	7.0
60～64	3.6	4.3	4.6	4.3	4.2	4.6	4.6	5.4	6.4	3.0
65～69	1.2	1.4	1.4	1.5	1.5	1.5	1.5	1.6	1.9	0.9
70～74	0.3	0.3	0.4	0.5	0.6	0.7	0.7	0.7	0.9	0.3
75歳以上	0.2	0.2	0.2	0.2	0.2	0.2	・	0.0	0.0	0.0
(再 掲)										
20～39歳	51.0	51.0	51.0	50.9	50.6	50.7	50.8	50.2	45.8	60.2
40～64	46.2	46.4	46.4	46.2	46.3	46.1	46.2	46.6	50.6	37.4
65～74	1.4	1.8	1.8	2.0	2.1	2.3	2.3	2.4	2.8	1.3
平均年齢（歳）	40.1	40.9	40.9	40.9	41.1	41.1	41.0	41.1	42.4	38.1

(注) 平成19年までの数値は、男女総数のものである。

3. 被扶養者の年齢構成

被扶養者の年齢構成について、平成10年と平成15年～平成20年までの6年間の推移を示したものが表3である。なお、平成20年度より後期高齢者医療制度の導入に伴い、原則75歳以上の被扶養者がいないため、平成19年については75歳以上の被扶養者を除いた場合の年齢構成も併せて示している。

被扶養者の20歳未満の割合は、近年、協会、組合ともに増加の傾向を示しており、協会51.9%、組合52.1%となっている。20歳以上40歳未満の割合は、平成20年には、協会21.3%、組合21.7%であり、近年、協会、組合ともにおおむね減少傾向となっている。

平成20年の40歳以上65歳未満の割合は、協会では平成10年よりも2.2ポイント増加して21.9%、組合では平成10年よりも1.7ポイント増加して23.6%となっている。

65歳以上75歳未満の割合は、平成20年には協会は4.9%、組合は2.6%でおおむね横ばいとなっている。

表3 被扶養者の年齢構成（各年10月1日現在）

(1) 協会

(単位：%)

年齢階級	平成 10年	15年	16年	17年	18年	19年	19年 (75歳以上 除く)	20年
総 数	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0
0～4歳	11.4	11.6	11.7	11.7	11.8	11.8	12.7	12.8
5～9	11.3	11.6	11.7	11.8	12.0	12.2	13.0	13.1
10～14	12.6	11.7	11.8	11.9	12.1	12.2	13.0	13.3
15～19	12.6	12.5	12.2	12.0	11.9	11.8	12.7	12.7
20～24	7.0	7.0	7.1	7.1	6.8	6.7	7.2	6.9
25～29	4.5	4.3	4.2	4.1	3.9	3.8	4.1	3.9
30～34	4.5	5.1	5.1	5.1	5.1	4.9	5.2	5.1
35～39	4.2	4.4	4.5	4.5	4.8	4.9	5.2	5.4
40～44	3.7	3.8	3.8	3.9	3.8	3.8	4.1	4.2
45～49	4.4	3.6	3.6	3.5	3.5	3.4	3.7	3.7
50～54	4.1	4.8	4.4	4.2	4.0	3.8	4.1	3.9
55～59	4.0	4.4	4.8	5.1	5.5	5.4	5.8	5.6
60～64	3.5	3.5	3.6	3.6	3.5	3.7	4.0	4.5
65～69	3.0	2.6	2.4	2.5	2.5	2.5	2.7	2.7
70～74	2.9	2.5	2.4	2.4	2.4	2.4	2.5	2.2
75歳以上	6.4	6.5	6.5	6.5	6.6	6.6	・	0.0
(再 掲)								
0～19歳	47.9	47.4	47.4	47.4	47.7	48.0	51.4	51.9
うち未就学児	16.7
20～39	20.1	20.8	20.9	20.9	20.6	20.3	21.7	21.3
40～64	19.7	20.1	20.2	20.3	20.2	20.2	21.7	21.9
65～74	5.9	5.1	4.9	4.9	4.9	4.9	5.2	4.9

(2) 組 合

(単位：%)

年齢階級	平成 10年	15年	16年	17年	18年	19年	19年 (75歳以上 除く)	20年
総 数	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0
0～4歳	11.7	12.7	12.3	12.6	12.3	12.3	13.0	13.2
5～9	11.3	12.3	12.7	12.7	13.3	13.0	11.4	13.7
10～14	12.8	11.9	12.1	12.2	12.5	12.5	13.2	12.9
15～19	13.0	12.8	12.0	12.1	12.0	12.2	12.9	12.3
20～24	7.5	7.0	7.1	6.9	6.8	6.5	6.9	6.6
25～29	4.5	3.7	3.5	3.1	3.1	3.1	3.2	3.1
30～34	5.5	6.0	6.1	6.0	5.3	5.5	5.8	5.3
35～39	5.4	6.1	6.2	6.1	6.6	6.4	6.8	6.7
40～44	5.2	5.4	5.6	5.7	5.7	5.7	6.0	6.0
45～49	6.1	4.8	4.8	4.8	4.6	4.9	5.1	5.0
50～54	5.3	5.7	5.3	5.1	4.9	4.7	5.0	4.7
55～59	3.6	4.1	4.4	4.8	5.0	5.0	5.3	5.0
60～64	1.7	2.0	2.3	2.2	2.1	2.3	2.4	2.8
65～69	1.3	1.2	1.2	1.2	1.3	1.4	1.5	1.5
70～74	1.3	1.1	1.1	1.1	1.2	1.2	1.3	1.2
75歳以上	3.8	3.3	3.3	3.3	3.3	3.2	・	0.0
(再 掲)								
0～19歳	48.8	49.7	49.1	49.6	50.1	50.0	50.6	52.1
うち未就学児	17.3
20～39	22.9	22.8	22.9	22.1	21.8	21.5	22.8	21.7
40～64	21.9	21.9	22.4	22.6	22.3	22.6	23.9	23.6
65～74	2.6	2.3	2.3	2.4	2.5	2.7	2.8	2.6

次に、平成20年における被扶養者の続柄別の年齢構成を示したものが表4である。

被扶養者全体に占める子の割合は、協会60.4%、組合59.7%となっており、また、その大半は20歳未満が占めており、20歳以上の子の割合は、協会8.9%、組合7.7%となっている。配偶者の割合は協会が34.4%、組合が37.9%であり、協会は35歳以上40歳未満及び55歳以上60歳未満、組合は35歳以上40歳未満の階級が最も多くなっている。直系尊属は協会4.2%、組合2.1%であり、いずれも60歳以上が大半を占めており、年齢の上昇とともに割合も増加している。

また、その他の被扶養者（兄弟姉妹等）は、協会、組合とも1%未満であり、協会、組合ともに各年齢階級に分布している。

表4 被扶養者の続柄別年齢構成（平成20年10月1日現在）

（単位：％）

年齢階級	協 会					組 合				
	総数	子	配偶者	直系尊属	その他	総数	子	配偶者	直系尊属	その他
総 数	100.0	60.4	34.4	4.2	0.9	100.0	59.7	37.9	2.1	0.4
0～4歳	12.8	12.7	0.0	0.0	0.1	13.2	13.1	0.0	0.0	0.0
5～9	13.1	13.0	0.0	0.0	0.1	13.7	13.7	0.0	0.0	0.0
10～14	13.3	13.3	0.0	0.0	0.1	12.9	12.9	0.0	0.0	0.0
15～19	12.7	12.6	0.0	0.0	0.1	12.3	12.3	0.0	0.0	0.0
20～24	6.9	6.2	0.7	0.0	0.1	6.6	6.1	0.4	0.0	0.0
25～29	3.9	1.5	2.3	0.0	0.0	3.1	1.0	2.1	0.0	0.0
30～34	5.1	0.7	4.4	0.0	0.0	5.3	0.4	4.9	0.0	0.0
35～39	5.4	0.3	5.1	0.0	0.0	6.7	0.1	6.6	0.0	0.0
40～44	4.2	0.1	4.1	0.0	0.0	6.0	0.0	6.0	0.0	0.0
45～49	3.7	0.0	3.6	0.0	0.0	5.0	0.0	5.0	0.0	0.0
50～54	3.9	0.0	3.8	0.1	0.1	4.7	0.0	4.7	0.0	0.0
55～59	5.6	0.0	5.1	0.4	0.1	5.0	0.0	4.8	0.2	0.0
60～64	4.5	0.0	3.6	0.8	0.1	2.8	0.0	2.4	0.4	0.0
65～69	2.7	0.0	1.4	1.2	0.1	1.5	0.0	0.8	0.6	0.0
70～74	2.2	0.0	0.4	1.7	0.1	1.2	0.0	0.2	0.9	0.1
75歳以上	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
（再掲）未就学児	16.7	16.6	0.0	0.0	0.1	17.3	17.3	0.0	0.0	0.1

4. 年齢階級別扶養率

被保険者の年齢階級別にみた被保険者1人当たり被扶養者数（扶養率）の平成10年と平成15年から平成20年までの6年間の推移を示したものが表5であり、平成20年の総数をグラフにしたのが図2である。なお、平成20年度より後期高齢者医療制度の導入に伴い原則75歳以上の加入者がいないため、平成19年については75歳以上の加入者を除いた場合の扶養率も併せて示している。

年齢計でみた扶養率は減少傾向にあるが、平成20年は後期高齢者医療制度の導入に伴い原則75歳以上の被扶養者がいなくなったことから減少の幅が大きくなり、協会は0.763、組合は0.893となっている。

年齢階級別に扶養率の最近6年間の動きを見ると、ピークとなる年齢階級は協会は40歳以上45歳未満、組合は45歳以上50歳未満で毎年同じである。平成20年の年齢階級別扶養率をみると、年齢の上昇とともに増加し、45歳前後でピークを迎えた後は徐々に減少している。

平成20年の年齢階級別扶養率を男女別にみると、男性については年齢の上昇とともに増加し、協会は40歳以上45歳未満、組合は45歳以上50歳未満でピークとなり、その扶養率は協会1.750、組合1.994である。それ以降は年齢の上昇とともに減少に転じており、平均扶養率は協会1.115、組合1.235となっている。女性の扶養率は、全年齢階級で男性より低く、平均扶養率は、協会0.189、組合0.121となっており、協会、組合ともに40歳以上45歳未満がピークで、その扶養率は協会0.412、組合0.270である。

表5 年齢階級別扶養率（各年10月1日現在）

(1) 協会

年齢階級	平成 10年	15年	16年	17年	18年	19年	19年 (75歳以上 除く)	20年		
								総数	男性	女性
総 数	0.888	0.875	0.867	0.855	0.839	0.821	0.773	0.763	1.115	0.189
15～19歳	0.023	0.028	0.029	0.026	0.025	0.025	0.025	0.029	0.046	0.010
20～24	0.097	0.117	0.114	0.110	0.107	0.107	0.106	0.106	0.197	0.022
25～29	0.384	0.360	0.355	0.350	0.345	0.341	0.339	0.333	0.534	0.073
30～34	0.978	0.832	0.815	0.796	0.786	0.764	0.759	0.749	1.062	0.194
35～39	1.465	1.291	1.248	1.204	1.173	1.136	1.125	1.101	1.476	0.355
40～44	1.612	1.500	1.443	1.406	1.360	1.312	1.282	1.250	1.750	0.412
45～49	1.389	1.428	1.418	1.374	1.336	1.289	1.210	1.170	1.747	0.322
50～54	1.046	1.084	1.093	1.097	1.075	1.056	0.920	0.904	1.379	0.185
55～59	0.717	0.799	0.814	0.809	0.786	0.771	0.634	0.626	0.932	0.105
60～64	0.658	0.696	0.706	0.709	0.704	0.694	0.596	0.587	0.795	0.079
65～69	0.635	0.649	0.643	0.642	0.639	0.632	0.569	0.567	0.751	0.058
70～74	0.546	0.543	0.540	0.542	0.540	0.537	0.484	0.484	0.660	0.034
75歳以上	0.400	0.390	0.385	0.388	0.391	0.382	・	0.223	0.340	0.022

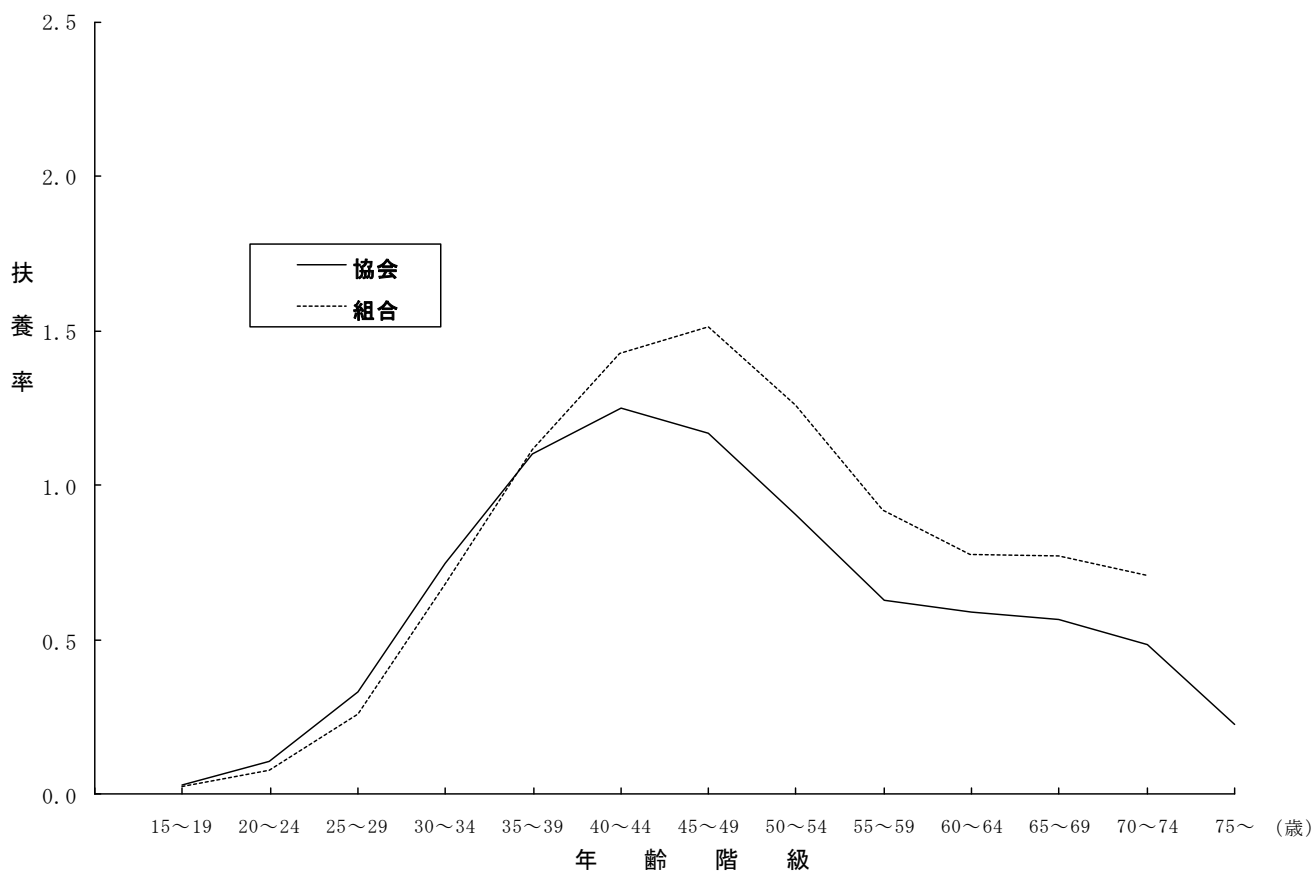
（注）平成19年までの数値は、男女総数の扶養率である。

(2) 組 合

年齢階級	平成 10年	15年	16年	17年	18年	19年	19年 (75歳以上 除く)	20年		
								総数	男性	女性
総 数	1.076	1.050	1.015	0.992	0.970	0.934	0.904	0.893	1.235	0.121
15～19歳	0.017	0.006	0.044	0.020	0.012	0.008	0.008	0.022	0.036	0.000
20～24	0.060	0.063	0.056	0.066	0.060	0.049	0.049	0.075	0.123	0.021
25～29	0.290	0.270	0.267	0.253	0.242	0.256	0.255	0.257	0.396	0.042
30～34	0.908	0.791	0.740	0.742	0.707	0.688	0.686	0.680	1.015	0.092
35～39	1.620	1.371	1.293	1.226	1.217	1.142	1.136	1.113	1.506	0.182
40～44	1.951	1.753	1.674	1.589	1.540	1.452	1.438	1.425	1.840	0.270
45～49	1.832	1.796	1.754	1.730	1.688	1.594	1.557	1.513	1.994	0.240
50～54	1.509	1.490	1.451	1.452	1.427	1.424	1.332	1.259	1.638	0.146
55～59	1.076	1.069	1.064	1.070	1.017	1.015	0.908	0.917	1.159	0.093
60～64	0.875	0.878	0.904	0.890	0.846	0.863	0.787	0.775	0.932	0.020
65～69	0.789	0.838	0.848	0.853	0.815	0.809	0.744	0.770	0.918	0.097
70～74	0.685	0.620	0.826	0.722	0.788	0.759	0.719	0.708	0.823	0.000
75歳以上	0.534	0.375	0.438	0.333	0.444	0.412	・	－	－	－

(注) 平成19年までの数値は、男女総数の扶養率である。

図2 年齢階級別扶養率（平成20年10月1日現在）



次に、平成20年における被保険者の年齢階級別扶養率を続柄別に示したものが表6である。

年齢階級総数における続柄別の扶養率をみると、子は協会0.461、組合0.533、配偶者は協会0.263、組合0.338、直系尊属は協会0.032、組合0.018、その他は協会0.007、組合0.003と、おおむね組合の方が高くなっているが、直系尊属の扶養率は協会の方が高くなっている。

被保険者の年齢階級別にみた子の扶養率は山型をなしており、ピークは協会は40歳以上45歳未満の0.873、組合は45歳以上50歳未満の1.031である。配偶者の扶養率は、65歳以上70歳未満が協会、組合ともに最も高くなっており、協会は0.479、組合は0.660となっている。直系尊属の扶養率は年齢階級別にみると山型をなしており、ピークは協会が40歳以上45歳未満の0.081、組合が40歳以上45歳未満及び45歳以上50歳未満の0.038である。

表6 被保険者の年齢階級別、続柄別扶養率（平成20年10月1日現在）

年齢階級	協 会					組 合				
	総数	子	配偶者	直系尊属	その他	総数	子	配偶者	直系尊属	その他
総 数	0.763	0.461	0.263	0.032	0.007	0.893	0.533	0.338	0.018	0.003
15～19歳	0.029	0.009	0.010	0.006	0.003	0.022	0.004	0.007	0.004	0.007
20～24	0.106	0.054	0.039	0.010	0.003	0.075	0.040	0.032	0.002	0.001
25～29	0.333	0.197	0.114	0.018	0.003	0.257	0.147	0.101	0.008	0.001
30～34	0.749	0.483	0.224	0.037	0.005	0.680	0.421	0.240	0.018	0.001
35～39	1.101	0.745	0.288	0.061	0.007	1.113	0.730	0.347	0.032	0.003
40～44	1.250	0.873	0.288	0.081	0.009	1.425	0.964	0.418	0.038	0.005
45～49	1.170	0.824	0.271	0.065	0.010	1.513	1.031	0.439	0.038	0.005
50～54	0.904	0.591	0.283	0.020	0.010	1.259	0.784	0.459	0.010	0.007
55～59	0.626	0.281	0.335	0.002	0.009	0.917	0.377	0.533	0.002	0.004
60～64	0.587	0.138	0.440	0.000	0.009	0.775	0.159	0.611	0.001	0.003
65～69	0.567	0.079	0.479	0.000	0.009	0.770	0.095	0.660	0.000	0.015
70～74	0.484	0.054	0.421	0.000	0.009	0.708	0.042	0.653	0.000	0.013
75歳以上	0.223	0.035	0.177	0.000	0.011	-	-	-	-	-

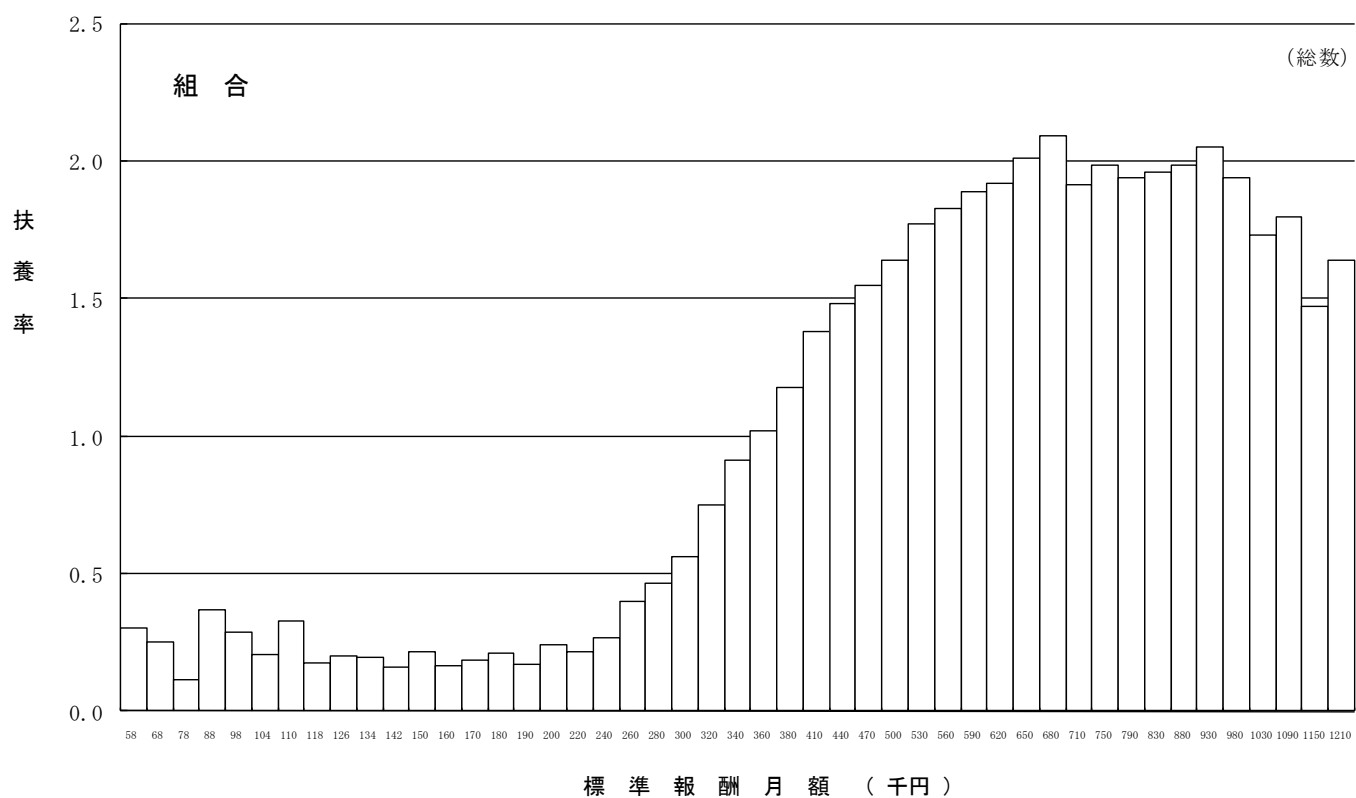
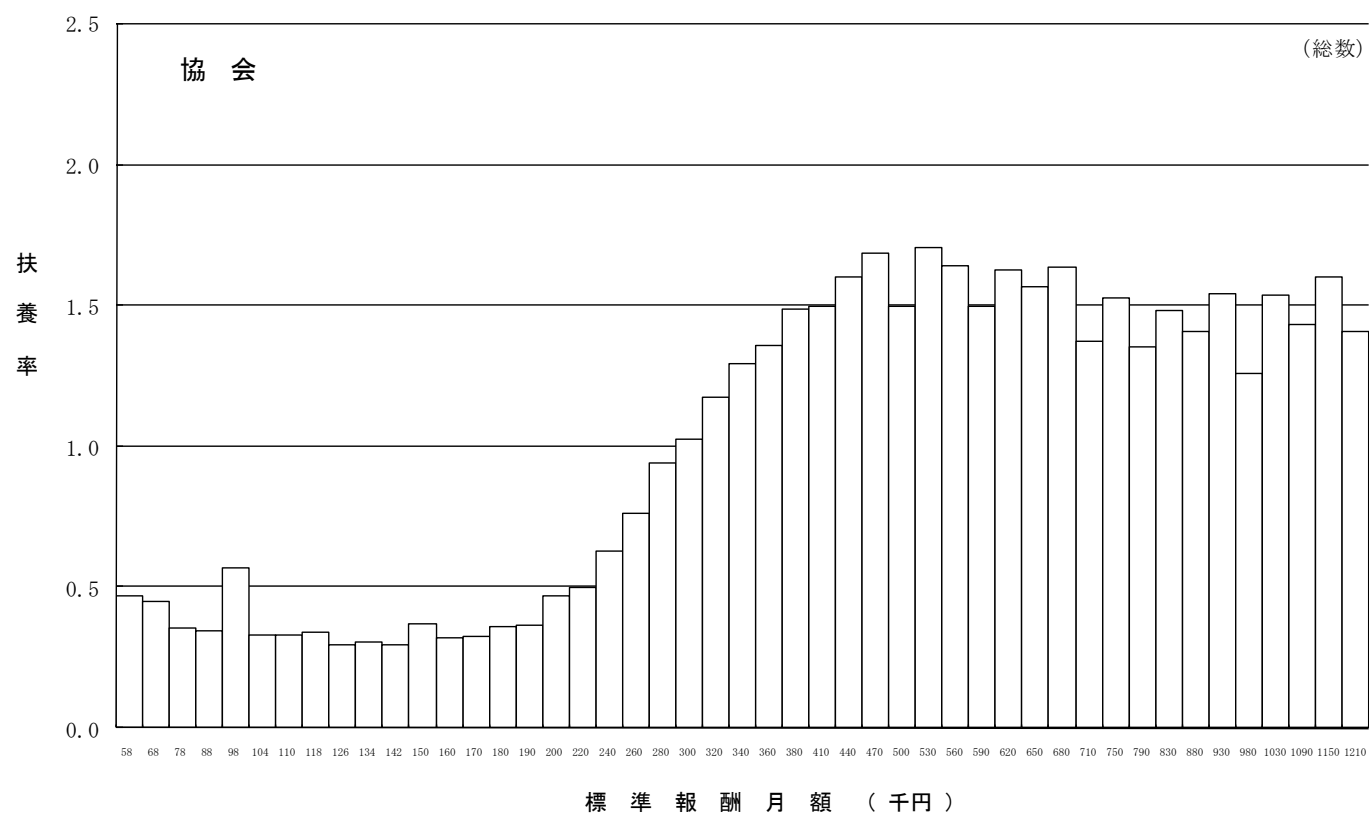
5. 標準報酬月額別扶養率

標準報酬月額別にみた扶養率を示したものが表7及び図3である。男性についてみると、協会、組合ともに、おおむね標準報酬月額が20万円程度から60万円程度の間で、標準報酬月額の上昇とともに扶養率も増加する傾向にある。扶養率が最も高いのは、協会で標準報酬月額53万円の1.723、組合で標準報酬月額103万円の2.061となっている。

表7 標準報酬月額別扶養率（平成20年10月1日現在）

標準報酬月額	協 会			組 合		
	総 数	男性	女性	総 数	男性	女性
総 数	0.763	1.115	0.189	0.893	1.235	0.121
58,000 円	0.535	0.820	0.125	0.500	0.857	0.000
68,000	0.404	0.678	0.155	0.250	0.333	0.000
78,000	0.347	0.679	0.141	0.273	1.000	0.200
88,000	0.325	0.623	0.178	0.158	0.333	0.125
98,000	0.546	0.897	0.165	0.356	0.700	0.179
104,000	0.309	0.620	0.206	0.375	0.500	0.344
110,000	0.297	0.605	0.200	0.149	0.474	0.067
118,000	0.310	0.642	0.192	0.283	0.516	0.219
126,000	0.272	0.558	0.190	0.208	0.328	0.166
134,000	0.278	0.570	0.185	0.228	0.396	0.191
142,000	0.271	0.541	0.182	0.179	0.377	0.140
150,000	0.339	0.674	0.172	0.222	0.580	0.141
160,000	0.287	0.540	0.173	0.204	0.358	0.149
170,000	0.299	0.538	0.173	0.227	0.365	0.169
180,000	0.329	0.568	0.173	0.191	0.364	0.108
190,000	0.331	0.552	0.172	0.187	0.395	0.071
200,000	0.423	0.678	0.169	0.206	0.402	0.087
220,000	0.455	0.680	0.179	0.214	0.376	0.083
240,000	0.565	0.788	0.190	0.238	0.403	0.087
260,000	0.701	0.925	0.195	0.353	0.545	0.072
280,000	0.860	1.068	0.213	0.460	0.658	0.082
300,000	0.948	1.175	0.209	0.615	0.835	0.135
320,000	1.087	1.290	0.241	0.723	0.931	0.148
340,000	1.200	1.395	0.255	0.856	1.049	0.153
360,000	1.273	1.471	0.248	0.988	1.186	0.138
380,000	1.381	1.559	0.277	1.109	1.310	0.087
410,000	1.401	1.598	0.246	1.286	1.439	0.212
440,000	1.500	1.667	0.271	1.366	1.505	0.170
470,000	1.566	1.713	0.289	1.459	1.598	0.243
500,000	1.413	1.628	0.203	1.575	1.713	0.256
530,000	1.592	1.723	0.279	1.684	1.764	0.310
560,000	1.544	1.696	0.221	1.799	1.897	0.156
590,000	1.408	1.607	0.192	1.807	1.899	0.083
620,000	1.531	1.669	0.225	1.856	1.928	0.292
650,000	1.477	1.640	0.189	1.837	1.966	0.167
680,000	1.520	1.656	0.227	1.861	1.966	0.105
710,000	1.317	1.527	0.165	1.895	1.979	0.000
750,000	1.434	1.595	0.197	1.843	1.937	0.000
790,000	1.269	1.487	0.154	1.920	1.984	0.556
830,000	1.425	1.572	0.196	1.860	1.969	0.100
880,000	1.348	1.522	0.168	1.820	1.984	0.000
930,000	1.436	1.581	0.215	1.649	1.717	0.200
980,000	1.207	1.421	0.182	1.827	1.973	0.000
1,030,000	1.438	1.583	0.232	2.012	2.061	0.667
1,090,000	1.384	1.544	0.191	1.516	1.632	0.200
1,150,000	1.511	1.644	0.252	1.936	2.022	0.000
1,210,000	1.379	1.528	0.211	1.481	1.589	0.130

図3 標準報酬月額別扶養率（平成20年10月1日現在）



6. 総報酬額階級別扶養率

被保険者の標準報酬月額12ヶ月分に標準賞与額を加算して総報酬額を算出し、その総報酬額階級別に扶養率を示したものが表8である。男性についてみると、協会、組合ともに、おおむね総報酬が300万円程度から700万円程度の間で、総報酬額の上昇に伴い扶養率も増加する傾向にある。扶養率が最も高いのは協会が17,000千円以上17,500千円未満の1.916、組合が14,000千円以上14,500千円未満の2.185となっている。また、8,500千円未満の階級においては、扶養率は協会の方が組合よりも高くなっている。

表8 総報酬額階級別扶養率（平成20年10月1日現在）

総報酬額階級	協 会			組 合		
	総 数	男性	女性	総 数	男性	女性
総 数	0.763	1.115	0.189	0.893	1.235	0.121
～ 999,000 円	0.441	0.757	0.135	0.391	0.700	0.154
1,000,000 ～ 1,499,000	0.398	0.769	0.188	0.258	0.507	0.184
1,500,000 ～ 1,999,000	0.306	0.597	0.181	0.214	0.418	0.158
2,000,000 ～ 2,499,000	0.367	0.625	0.173	0.215	0.403	0.120
2,500,000 ～ 2,999,000	0.447	0.691	0.176	0.222	0.545	0.091
3,000,000 ～ 3,499,000	0.630	0.880	0.180	0.328	0.649	0.071
3,500,000 ～ 3,999,000	0.771	1.020	0.193	0.440	0.796	0.098
4,000,000 ～ 4,499,000	0.962	1.201	0.217	0.580	0.973	0.084
4,500,000 ～ 4,999,000	1.131	1.367	0.228	0.749	1.154	0.140
5,000,000 ～ 5,499,000	1.278	1.506	0.258	0.935	1.154	0.155
5,500,000 ～ 5,999,000	1.396	1.611	0.279	1.035	1.233	0.135
6,000,000 ～ 6,499,000	1.409	1.626	0.250	1.250	1.442	0.145
6,500,000 ～ 6,999,000	1.532	1.719	0.285	1.397	1.538	0.136
7,000,000 ～ 7,499,000	1.492	1.683	0.247	1.457	1.585	0.252
7,500,000 ～ 7,999,000	1.586	1.748	0.272	1.551	1.680	0.291
8,000,000 ～ 8,499,000	1.627	1.772	0.282	1.546	1.687	0.165
8,500,000 ～ 8,999,000	1.477	1.658	0.202	1.720	1.817	0.220
9,000,000 ～ 9,499,000	1.434	1.618	0.192	1.753	1.860	0.245
9,500,000 ～ 9,999,000	1.542	1.679	0.217	1.790	1.872	0.185
10,000,000 ～ 10,499,000	1.648	1.774	0.227	1.993	2.059	0.353
10,500,000 ～ 10,999,000	1.433	1.598	0.171	1.840	1.914	0.333
11,000,000 ～ 11,499,000	1.495	1.637	0.192	1.795	1.850	0.000
11,500,000 ～ 11,999,000	1.242	1.450	0.182	1.963	2.063	0.143
12,000,000 ～ 12,499,000	1.459	1.603	0.232	2.005	2.133	0.214
12,500,000 ～ 12,999,000	1.557	1.690	0.256	1.837	1.899	0.000
13,000,000 ～ 13,499,000	1.371	1.532	0.186	1.926	2.031	0.000
13,500,000 ～ 13,999,000	1.456	1.593	0.248	2.128	2.170	0.000
14,000,000 ～ 14,499,000	1.560	1.698	0.245	2.133	2.185	0.000
14,500,000 ～ 14,999,000	1.335	1.490	0.208	1.682	1.768	0.231
15,000,000 ～ 15,499,000	1.592	1.716	0.210	2.080	2.167	0.000
15,500,000 ～ 15,999,000	1.577	1.704	0.248	2.019	2.019	-
16,000,000 ～ 16,499,000	1.623	1.734	0.259	1.714	1.800	0.000
16,500,000 ～ 16,999,000	1.653	1.767	0.280	2.079	2.167	0.500
17,000,000 ～ 17,499,000	1.801	1.916	0.240	1.700	1.759	0.000
17,500,000 ～ 17,999,000	1.781	1.884	0.257	1.727	1.900	0.000
18,000,000 ～ 18,499,000	1.746	1.847	0.283	1.348	1.476	0.000
18,500,000 ～ 18,999,000	1.658	1.762	0.240	1.429	1.538	0.000
19,000,000 ～ 19,499,000	1.623	1.706	0.260	1.667	1.667	-
19,500,000 ～ 19,999,000	1.457	1.540	0.196	1.400	1.500	0.000
20,000,000 ～	1.503	1.606	0.180	1.750	1.750	-

7. 年齢階級別平均標準報酬月額

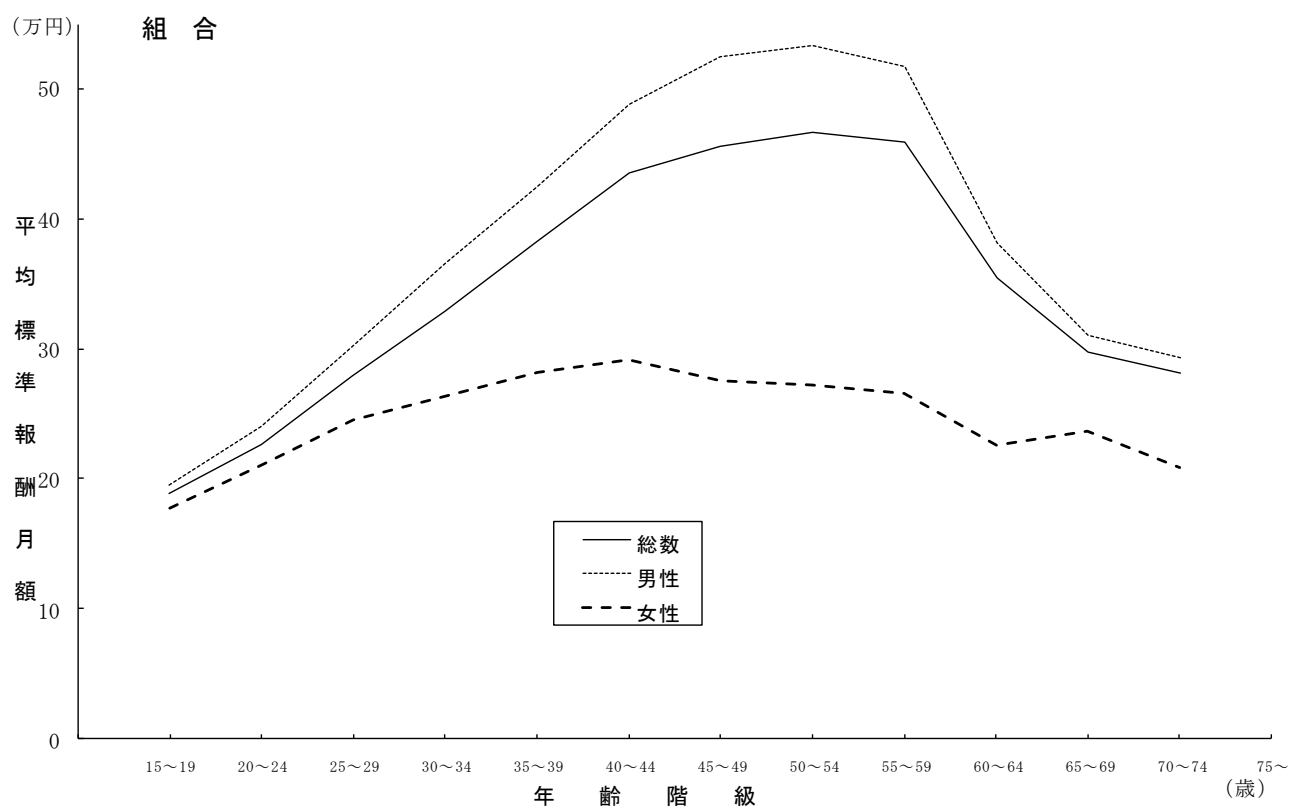
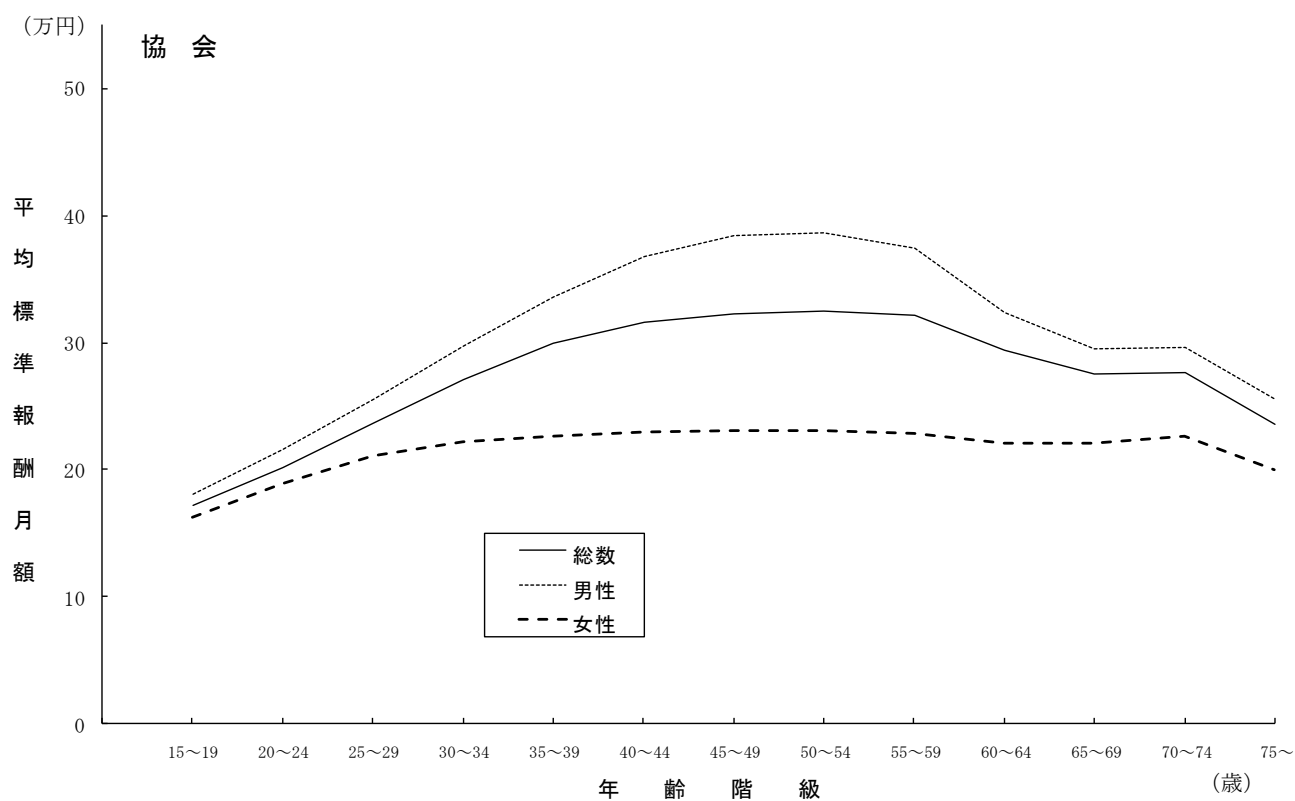
被保険者の年齢階級別にみた平均標準報酬月額を示したものが表9－1及び図4である。男性は年齢階級別にみると山型をなしており、ピークは協会、組合ともに50歳以上55歳未満で、協会が386,003円、組合が533,172円となっており、これを20歳未満の平均標準報酬月額と比較すると、協会は約2.14倍、組合は約2.73倍となっている。協会は40歳ごろ、組合は45歳ごろまでの平均標準報酬月額は年齢階級の上昇とともに3～5万円程度増加するが、その後はそれより小幅な増加となり、55歳を過ぎると平均標準報酬月額は年齢とともにおおむね減少する傾向となっている。一方、女性の平均標準報酬月額は、協会は16万円～23万円台、組合は17万円～29万円台で推移している。

平均標準報酬月額について、組合の協会に対する比率でみると、男性は55歳以上60歳未満、女性は40歳以上45歳未満の階級が最も大きく、男性で約1.38倍、女性で約1.27倍となっており、また、平均では男性で約1.29倍、女性で約1.18倍となっている。

表9－1 年齢階級別平均標準報酬月額（平成20年10月1日現在）

年齢階級	① 協会			② 組合			比率（②／①）		
	総数	男性	女性	総数	男性	女性	総数	男性	女性
	円	円	円	円	円	円			
総 数	287,137	328,265	220,044	372,655	422,893	259,068	1.298	1.288	1.177
15～19歳	171,270	180,606	161,437	188,415	195,574	177,000	1.100	1.083	1.096
20～24	201,415	215,867	188,205	226,431	240,653	210,152	1.124	1.115	1.117
25～29	235,580	255,034	210,483	279,570	301,873	245,038	1.187	1.184	1.164
30～34	269,716	297,060	221,321	328,924	365,827	264,096	1.220	1.231	1.193
35～39	298,851	335,426	226,150	382,678	425,083	282,182	1.280	1.267	1.248
40～44	315,655	367,193	229,395	435,953	487,620	292,135	1.381	1.328	1.274
45～49	321,951	383,972	230,764	456,287	524,588	275,755	1.417	1.366	1.195
50～54	324,034	386,003	230,257	466,976	533,172	272,297	1.441	1.381	1.183
55～59	320,393	373,949	229,055	459,935	516,956	265,601	1.436	1.382	1.160
60～64	293,717	323,646	220,588	355,174	382,096	225,662	1.209	1.181	1.023
65～69	275,066	294,729	220,623	297,251	310,602	236,237	1.081	1.054	1.071
70～74	275,852	295,390	226,128	281,568	293,369	208,970	1.021	0.993	0.924
75歳以上	234,927	255,761	199,064	—	—	—	—	—	—

図4 年齢階級別平均標準報酬月額（平成20年10月1日現在）



次に平成20年の平均標準報酬月額の伸び率を示したものが表9－2である。

平均標準報酬月額の伸び率は、協会の男性は0.06%減、女性は0.35%増、組合の男性は0.55%増、女性は1.07%増となっている。この伸び率を要因に分解すると、ベースアップ分の影響で、協会の男性は0.33%減、女性は0.22%増、組合の男性は0.77%増、女性は1.15%増、後期高齢者医療制度の導入により75歳以上の被保険者が後期高齢者医療制度に異動した影響で、協会の男性は0.16%増、女性は0.02%増、組合の男性は0.03%減、女性は0.04%減、その他の影響では、協会の男性は0.11%増、女性は0.10%増、組合の男性は0.19%減、女性は0.05%減となっている。

なお、ベースアップ分とは、年齢階級別の被保険者数を平成20年の調査客体数で固定し、年齢階級別の平均標準報酬月額のみを変動させてその伸び率を算出したものである。また、後期高齢者医療制度の導入による影響は、平成19年の年齢階級別の平均標準報酬月額を固定し、平成19年の被保険者数のうち75歳以上の者についてのみ平成20年の被保険者数に置き換えて、平均標準報酬月額の伸び率を算出したものである。

表9－2 平均標準報酬月額伸び率の要因分解

(1) 協会

	H19平均標準報酬月額	H20平均標準報酬月額	伸び率(%)	要因分解(%)		
				ベースアップ分	後期高齢者医療制度の導入	その他
総数	287,186	287,137	▲ 0.02	▲ 0.30	0.11	0.18
男性	328,472	328,265	▲ 0.06	▲ 0.33	0.16	0.11
女性	219,280	220,044	0.35	0.22	0.02	0.10

(2) 組合

	H19平均標準報酬月額	H20平均標準報酬月額	伸び率(%)	要因分解(%)		
				ベースアップ分	後期高齢者医療制度の導入	その他
総数	371,314	372,655	0.36	0.48	▲ 0.02	▲ 0.09
男性	420,589	422,893	0.55	0.77	▲ 0.03	▲ 0.19
女性	256,336	259,068	1.07	1.15	▲ 0.04	▲ 0.05

8. 年齢階級別平均標準賞与額

平成19年10月1日から平成20年9月30日の1年間に支払われた標準賞与額の平均を年齢階級別に示したものが表10及び図5である。

年齢階級別の分布をみると、男性は協会、組合とも標準報酬月額と同様の山型をなしており、ピークは協会が45歳以上50歳未満で605,691円、組合が45歳以上50歳未満で1,925,394円となっている。これを20歳未満の平均標準賞与額と比較すると、協会は約4.84倍、組合は約7.99倍となり、いずれも平均標準報酬月額の場合よりも比率が大きく、組合の場合は特に大きくなっている。

女性の平均標準賞与額も男性とほぼ同様の傾向にあるが、男性と比べるとなだらかである。また、年齢の上昇に伴い男性との差は大きくなる傾向にあり、その中でも40歳～50歳代では男性よりもかなり低い金額になっている。

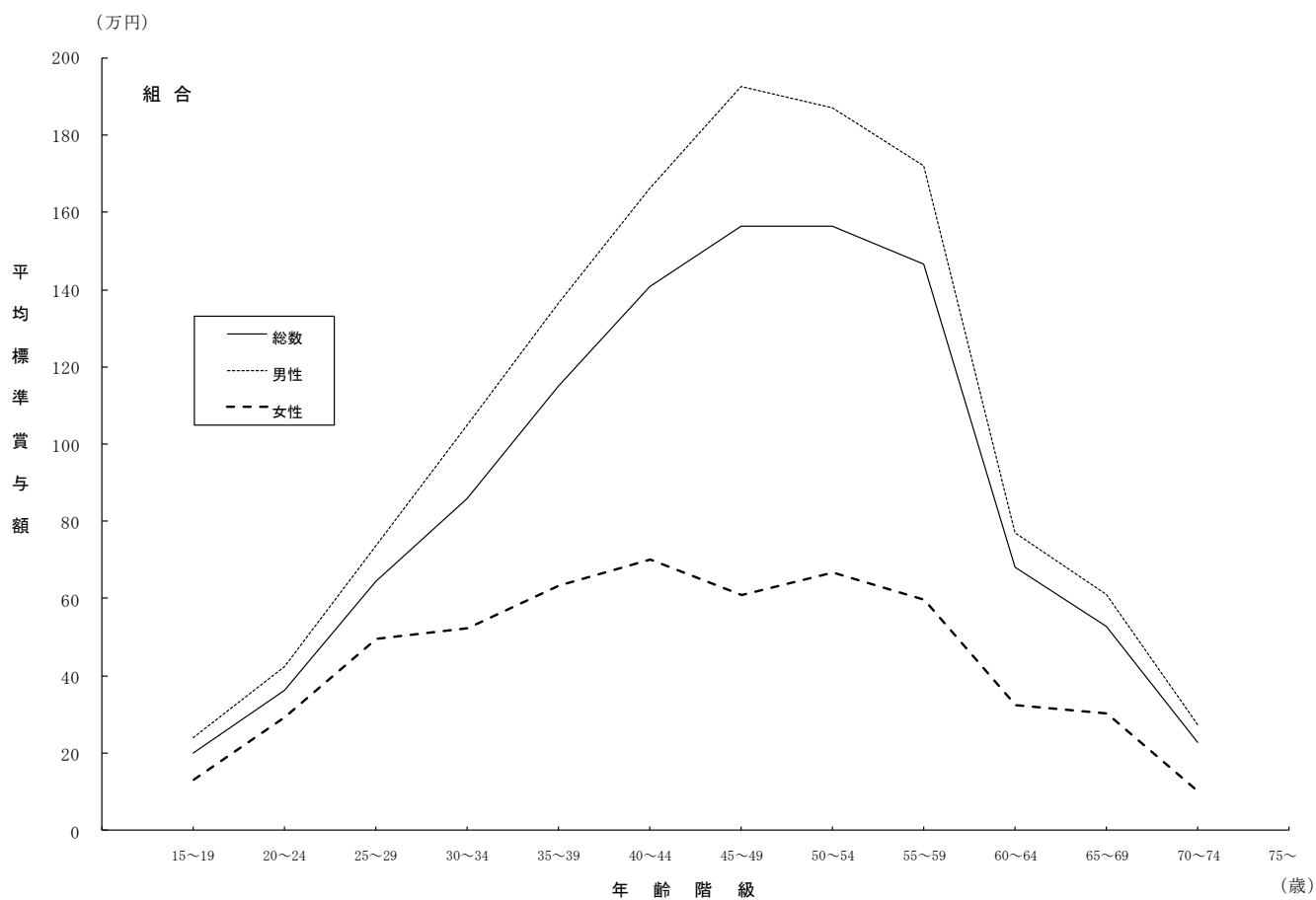
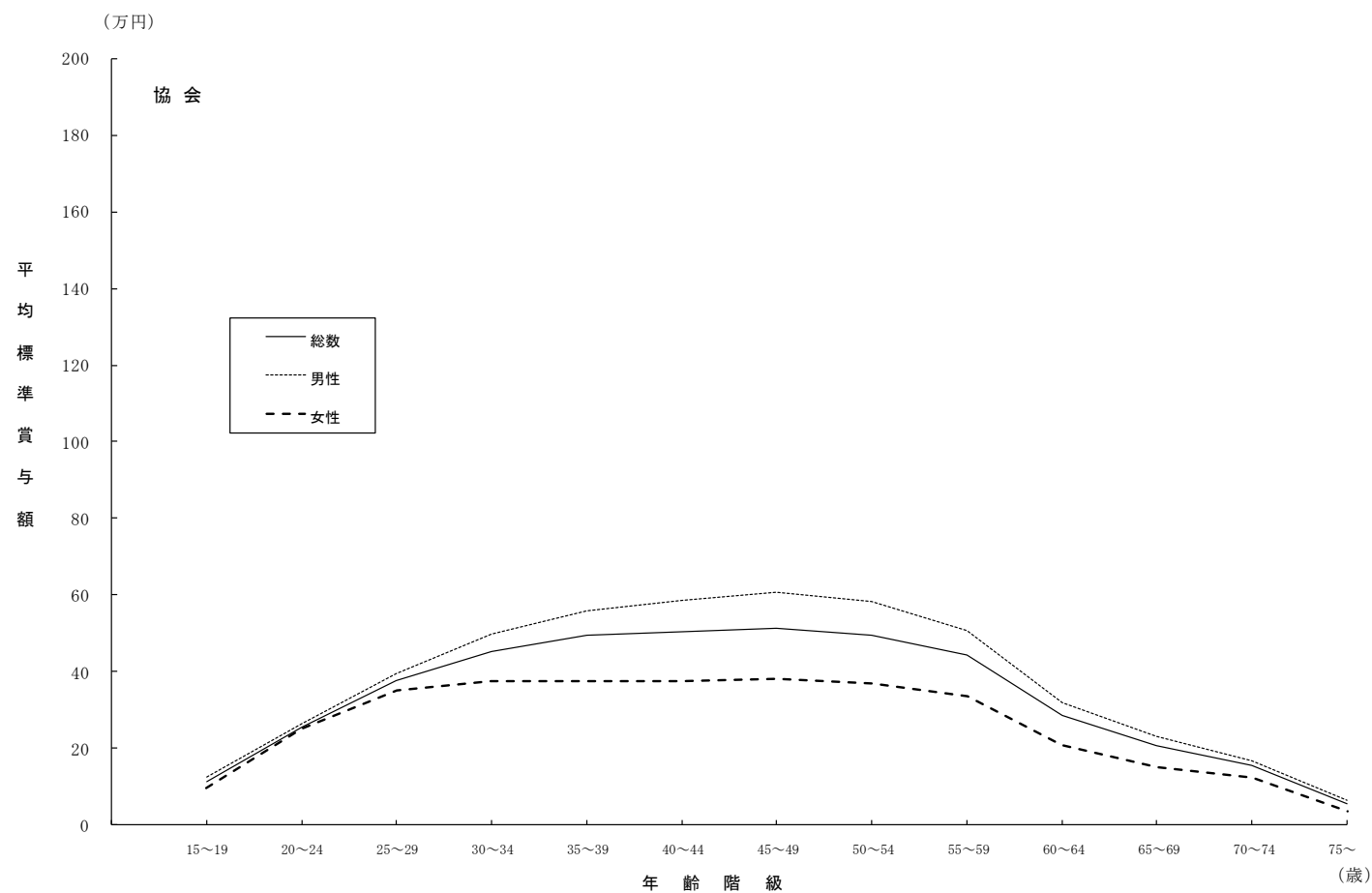
平均標準賞与額について、組合の協会に対する比率は平均で男性が約2.79倍、女性が約1.62倍となっており、協会と組合との比率は平均標準報酬月額の場合よりも大きくなっている。

表10 年齢階級別平均標準賞与額（平成20年10月1日現在）

年齢階級	① 協会			② 組合			比率 (②/①)		
	総数	男性	女性	総数	男性	女性	総数	男性	女性
	円	円	円	円	円	円			
総 数	422,111	478,050	332,161	1,084,692	1,332,131	537,618	2.570	2.787	1.619
15～19 歳	110,499	125,076	95,149	199,371	240,834	133,264	1.804	1.926	1.401
20～24	255,251	263,843	247,389	363,432	423,788	293,792	1.424	1.606	1.188
25～29	374,865	394,684	349,232	644,248	738,334	496,785	1.719	1.871	1.423
30～34	452,694	496,952	374,286	858,998	1,048,452	522,697	1.898	2.110	1.397
35～39	495,590	557,485	372,654	1,150,480	1,365,854	634,085	2.321	2.450	1.702
40～44	505,957	585,097	374,017	1,408,533	1,661,706	701,329	2.784	2.840	1.875
45～49	513,583	605,691	378,956	1,564,876	1,925,394	609,286	3.047	3.179	1.608
50～54	496,451	582,478	367,189	1,563,989	1,869,699	668,848	3.150	3.210	1.822
55～59	441,931	506,361	333,001	1,467,496	1,721,234	596,938	3.321	3.399	1.793
60～64	284,106	317,503	206,160	681,232	770,440	326,452	2.398	2.427	1.583
65～69	206,846	230,326	149,197	527,577	612,739	302,803	2.551	2.660	2.030
70～74	154,308	168,517	121,469	226,716	275,917	102,421	1.469	1.637	0.843
75歳以上	53,013	64,658	33,462	-	-	-	-	-	-

(注) 平均標準賞与額については、任意継続被保険者及び特例退職被保険者を除いて算出している。

図5 年齢階級別平均標準賞与額（平成20年10月1日現在）



また、平均標準報酬月額と平均標準賞与額の比較を示したものが表11及び図6である。

総数における平均標準賞与額の平均標準報酬月額に対する比率をみると、協会は約1.47ヶ月分、組合は約2.91ヶ月分となっている。

この比率を年齢階級別にみると、協会、組合ともに山型をなしており、ピークは協会が30歳以上35歳未満の約1.68ヶ月分、組合が45歳以上50歳未満の約3.43ヶ月分となっている。その後は年齢の上昇とともに減少し、協会は60歳以上、組合は70歳以上になると、平均標準賞与額は平均標準報酬月額の1ヶ月分を下回っている。

次に男女別でみると、協会は男女ともに30歳以上35歳未満、組合は男性が45歳以上50歳未満、女性が50歳以上55歳未満でピークとなっており、また、ピーク時の平均標準賞与額の平均標準報酬月額に対する比率は、協会男性が約1.67ヶ月分、組合男性が約3.67ヶ月分、協会女性が約1.69ヶ月分、組合女性が約2.46ヶ月分となっている。

また図6をみると、平均標準賞与額の平均標準報酬月額に対する比率は、協会において男性と女性の間に大きな差は見られないが、組合においては男性の方が高くなっている。

表11 年齢階級別平均標準報酬月額と平均標準賞与額の比較（平成20年10月1日現在）

(1) 協会

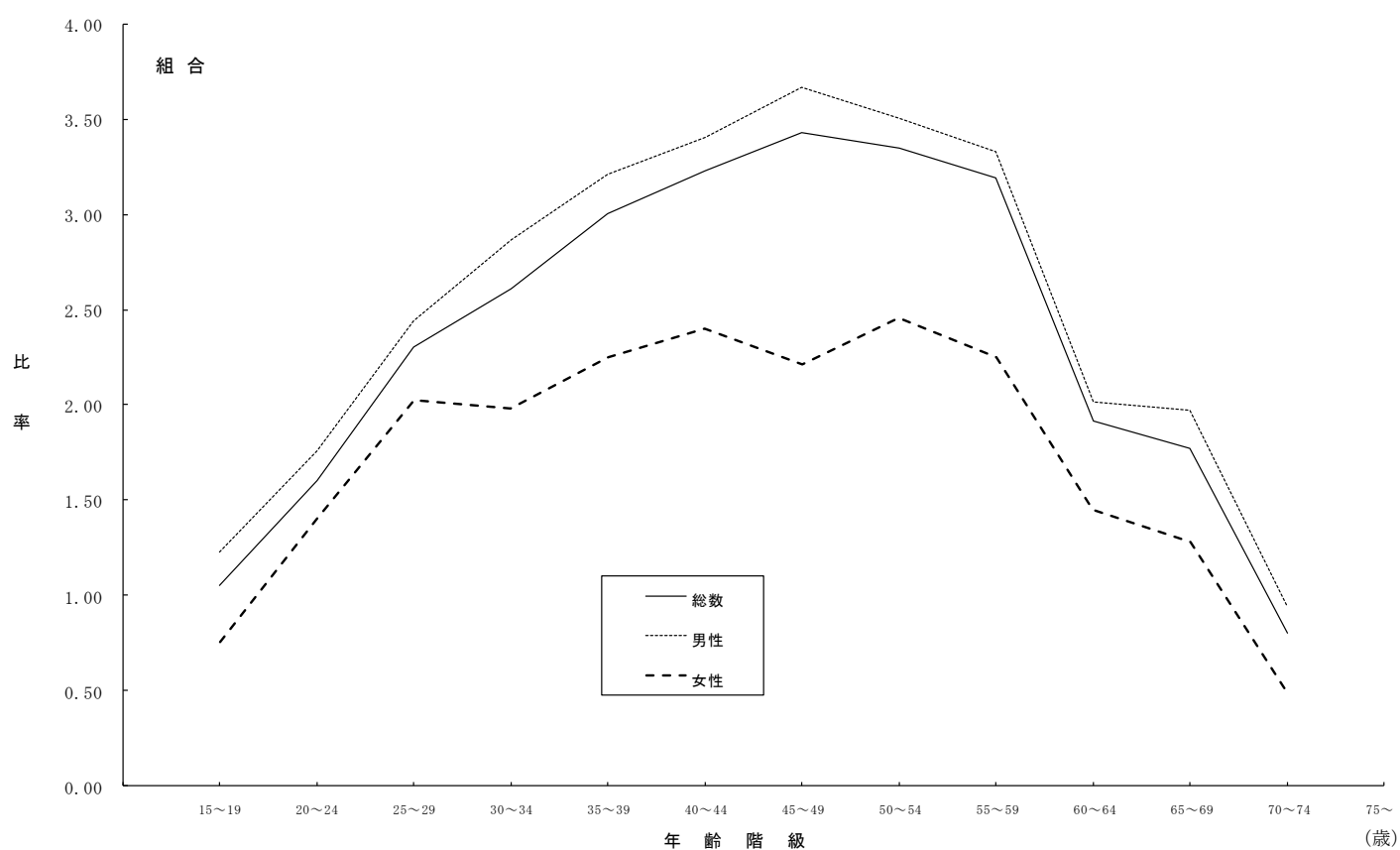
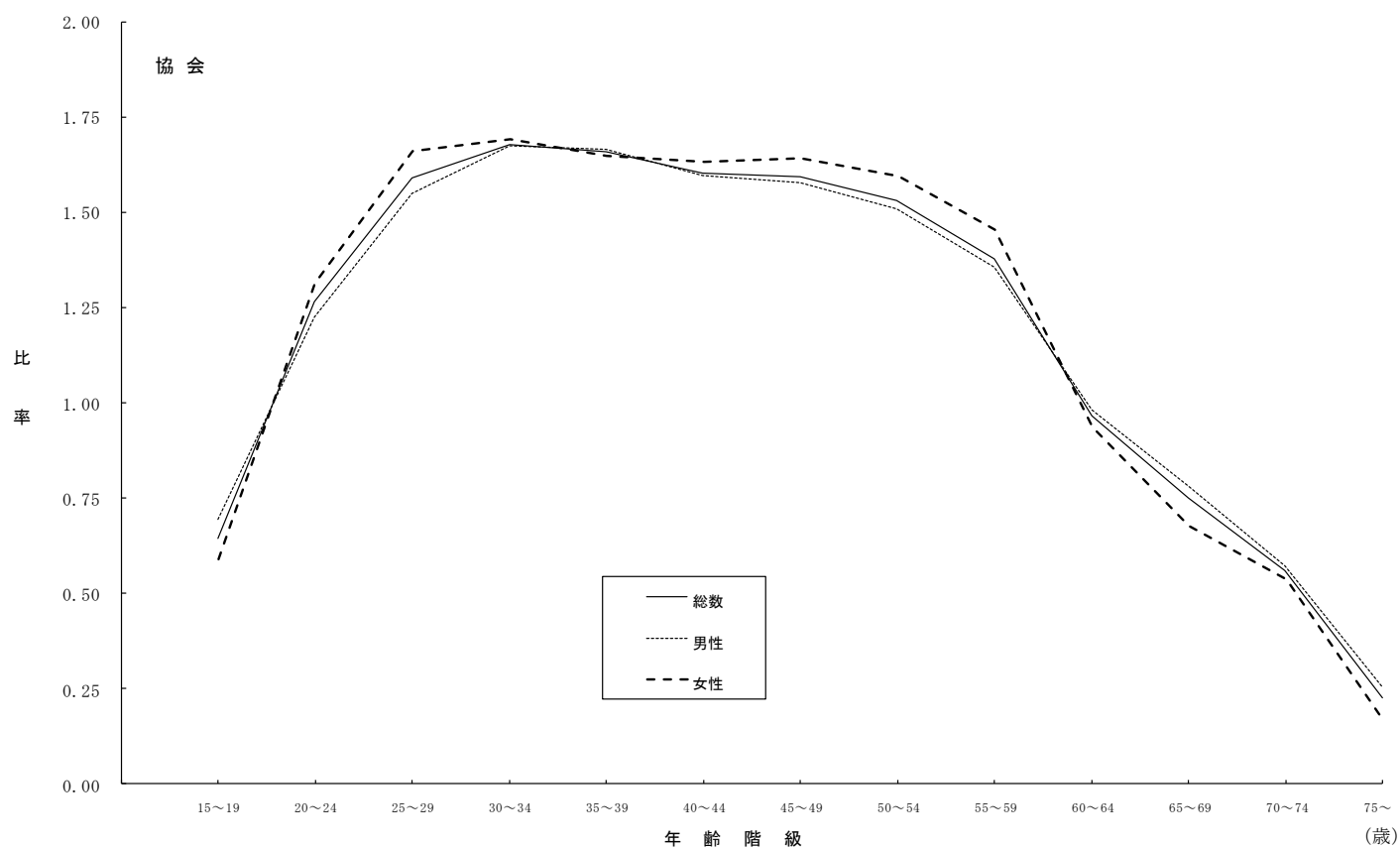
年齢階級	① 平均標準報酬月額			② 平均標準賞与額			比率 (②/①)		
	総数	男性	女性	総数	男性	女性	総数	男性	女性
	円	円	円	円	円	円			
総 数	287,137	328,265	220,044	422,111	478,050	332,161	1.470	1.456	1.510
15～19歳	171,270	180,606	161,437	110,499	125,076	95,149	0.645	0.693	0.589
20～24	201,415	215,867	188,205	255,251	263,843	247,389	1.267	1.222	1.314
25～29	235,580	255,034	210,483	374,865	394,684	349,232	1.591	1.548	1.659
30～34	269,716	297,060	221,321	452,694	496,952	374,286	1.678	1.673	1.691
35～39	298,851	335,426	226,150	495,590	557,485	372,654	1.658	1.662	1.648
40～44	315,655	367,193	229,395	505,957	585,097	374,017	1.603	1.593	1.630
45～49	321,951	383,972	230,764	513,583	605,691	378,956	1.595	1.577	1.642
50～54	324,034	386,003	230,257	496,451	582,478	367,189	1.532	1.509	1.595
55～59	320,393	373,949	229,055	441,931	506,361	333,001	1.379	1.354	1.454
60～64	293,717	323,646	220,588	284,106	317,503	206,160	0.967	0.981	0.935
65～69	275,066	294,729	220,623	206,846	230,326	149,197	0.752	0.781	0.676
70～74	275,852	295,390	226,128	154,308	168,517	121,469	0.559	0.570	0.537
75歳以上	234,927	255,761	199,064	53,013	64,658	33,462	0.226	0.253	0.168

(2) 組合

年齢階級	① 平均標準報酬月額			② 平均標準賞与額			比率 (②/①)		
	総数	男性	女性	総数	男性	女性	総数	男性	女性
	円	円	円	円	円	円			
総 数	372,655	422,893	259,068	1,084,692	1,332,131	537,618	2.911	3.150	2.075
15～19歳	188,415	195,574	177,000	199,371	240,834	133,264	1.058	1.231	0.753
20～24	226,431	240,653	210,152	363,432	423,788	293,792	1.605	1.761	1.398
25～29	279,570	301,873	245,038	644,248	738,334	496,785	2.304	2.446	2.027
30～34	328,924	365,827	264,096	858,998	1,048,452	522,697	2.612	2.866	1.979
35～39	382,678	425,083	282,182	1,150,480	1,365,854	634,085	3.006	3.213	2.247
40～44	435,953	487,620	292,135	1,408,533	1,661,706	701,329	3.231	3.408	2.401
45～49	456,287	524,588	275,755	1,564,876	1,925,394	609,286	3.430	3.670	2.210
50～54	466,976	533,172	272,297	1,563,989	1,869,699	668,848	3.349	3.507	2.456
55～59	459,935	516,956	265,601	1,467,496	1,721,234	596,938	3.191	3.330	2.247
60～64	355,174	382,096	225,662	681,232	770,440	326,452	1.918	2.016	1.447
65～69	297,251	310,602	236,237	527,577	612,739	302,803	1.775	1.973	1.282
70～74	281,568	293,369	208,970	226,716	275,917	102,421	0.805	0.941	0.490
75歳以上	-	-	-	-	-	-	-	-	-

(注) 平均標準賞与額については、任意継続被保険者及び特例退職被保険者を除いて算出している。

図6 平均標準報酬月額と平均標準賞与額の比較（平成20年10月1日現在）



9. 年齢階級別平均総報酬額

被保険者の平均総報酬額を年齢階級別に示したものが表12－1及び図7である。

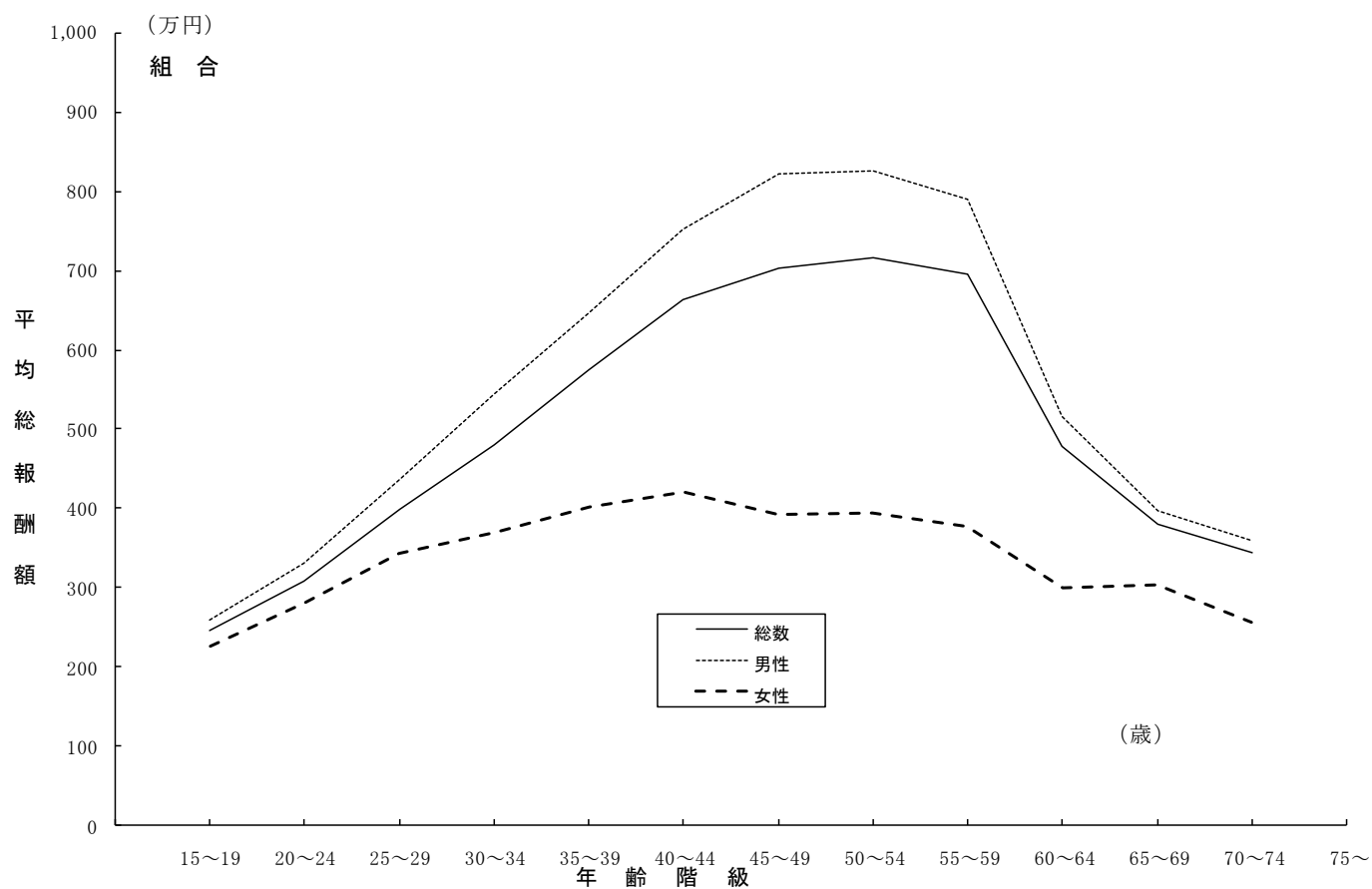
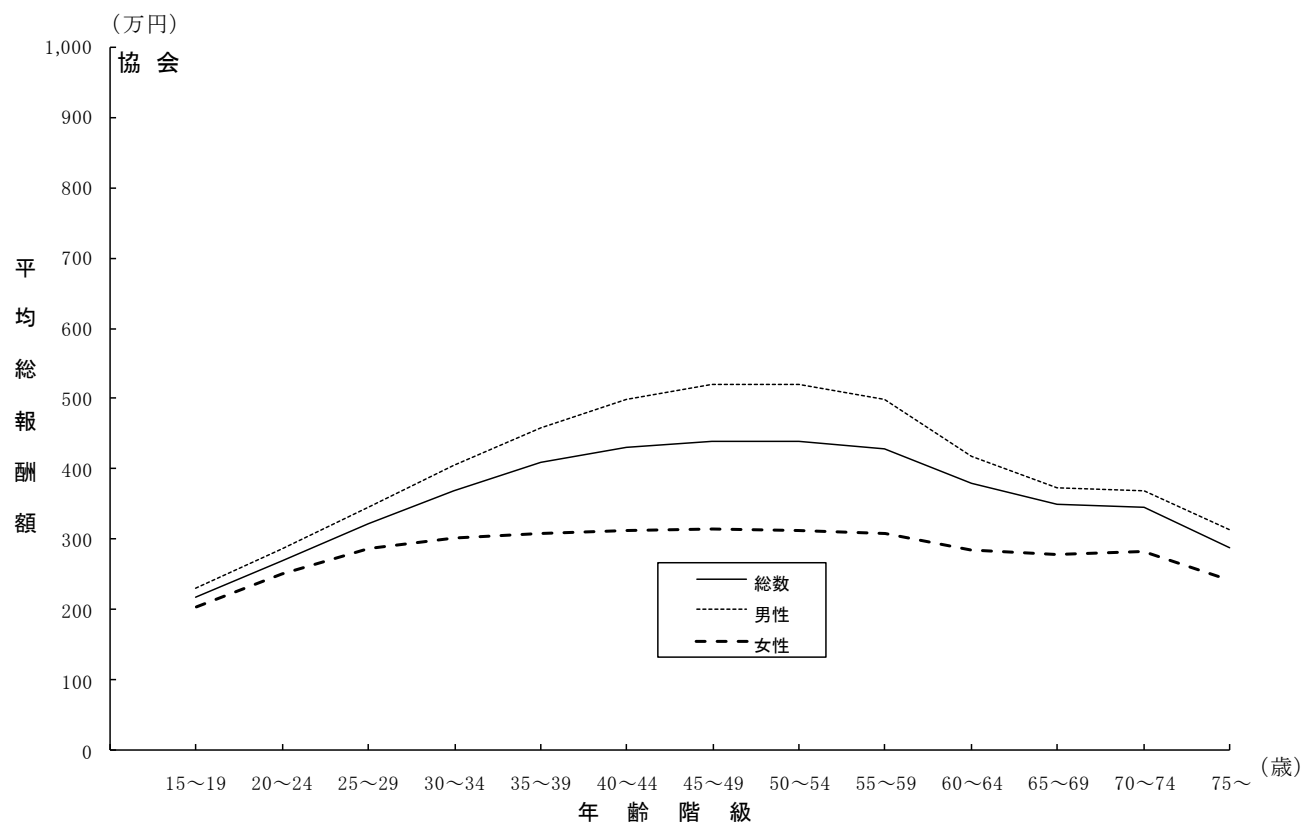
年齢階級別の分布をみると、男性は協会、組合ともに標準報酬月額と同様の山型をなしており、ピークとなる年齢階級は、協会、組合ともに50歳以上55歳未満で、協会が5,206,180円、組合が8,246,808円となっている。女性の平均総報酬額についても男性とほぼ同様の傾向にあり、協会は45歳以上50歳未満、組合は40歳以上45歳未満でピークとなっているが、男性と比べるとなだらかであり、年齢階級による格差があまりみられない。

組合の協会に対する比率をみると、男性は50歳以上55歳未満、女性は40歳以上45歳未満の階級が最も差が大きく、男性が約1.58倍、女性が約1.35倍となっており、また、平均では男性が約1.44倍、女性が約1.22倍となっている。

表12－1 年齢階級別平均総報酬額（平成20年10月1日現在）

年齢階級	①協 会			②組 合			比率（②／①）		
	総数	男性	女性	総数	男性	女性	総数	男性	女性
	円	円	円	円	円	円			
総 数	3,859,173	4,404,942	2,968,842	5,517,031	6,349,462	3,634,915	1.430	1.441	1.224
15～19	2,165,597	2,292,192	2,032,278	2,460,345	2,587,722	2,257,264	1.136	1.129	1.111
20～24	2,671,174	2,853,315	2,504,701	3,078,198	3,310,386	2,812,425	1.152	1.160	1.123
25～29	3,199,151	3,452,730	2,872,039	3,993,776	4,358,234	3,429,490	1.248	1.262	1.194
30～34	3,685,278	4,057,430	3,026,598	4,798,707	5,433,309	3,683,919	1.302	1.339	1.217
35～39	4,077,060	4,577,119	3,083,076	5,733,802	6,461,064	4,010,270	1.406	1.412	1.301
40～44	4,288,690	4,984,634	3,123,871	6,631,337	7,504,489	4,200,854	1.546	1.506	1.345
45～49	4,371,665	5,205,637	3,145,507	7,028,207	8,207,024	3,912,397	1.608	1.577	1.244
50～54	4,379,141	5,206,180	3,127,602	7,151,892	8,246,808	3,931,815	1.633	1.584	1.257
55～59	4,279,567	4,984,022	3,078,129	6,951,293	7,885,682	3,766,742	1.624	1.582	1.224
60～64	3,787,725	4,173,848	2,844,260	4,776,582	5,146,745	2,995,797	1.261	1.233	1.053
65～69	3,480,545	3,730,344	2,788,898	3,793,116	3,959,348	3,033,452	1.090	1.061	1.088
70～74	3,449,009	3,692,029	2,830,512	3,443,178	3,585,675	2,566,606	0.998	0.971	0.907
75歳以上	2,870,730	3,131,482	2,421,858	－	－	－	－	－	－

図7 年齢階級別平均総報酬額（平成20年10月1日現在）



次に平成20年の平均総報酬額の伸び率を示したものが表12－2である。

これによると、平均総報酬額の伸び率は、協会の男性は0.60％増、女性は1.04％増、組合の男性は0.80％増、女性は1.05％増となっている。この伸び率を要因に分解すると、ベースアップ分の影響で、協会の男性は0.29％増、女性は0.87％増、組合の男性は1.07％増、女性は1.15％増、後期高齢者医療制度の導入により75歳以上の被保険者が後期高齢者医療制度に異動した影響で、協会の男性は0.24％増、女性は0.10％増、組合の男性は0.01％増、女性は0.01％減、その他の影響で、協会の男性は0.08％増、女性は0.07％増、組合の男性は0.27％減、女性は0.08％減となっている。

なお、ベースアップ分とは、年齢階級別の被保険者数を平成20年の調査客体数で固定し、年齢階級別の平均総報酬額のみを変動させてその伸び率を算出したものである。また、後期高齢者医療制度の導入による影響は、年齢階級別の平均総報酬額を固定し、平成19年の被保険者のうち75歳以上についてのみ平成20年の被保険者数に置き換えて、平均総報酬額の伸び率を算出したものである。

表12－2 平均総報酬額の伸び率の要因分解

(1) 協 会

	H19平均 総報酬額	H20平均 総報酬額	伸び率 (%)	要因分解(%)		
				ベースアップ分	後期高齢者医療 制度の導入	その他
総数	3,833,934	3,859,173	0.66	0.33	0.18	0.14
男性	4,378,542	4,404,942	0.60	0.29	0.24	0.08
女性	2,938,219	2,968,842	1.04	0.87	0.10	0.07

(2) 組 合

	H19平均 総報酬額	H20平均 総報酬額	伸び率 (%)	要因分解(%)		
				ベースアップ分	後期高齢者医療 制度の導入	その他
総数	5,488,500	5,517,031	0.52	0.68	0.01	▲ 0.17
男性	6,299,128	6,349,462	0.80	1.07	0.01	▲ 0.27
女性	3,596,978	3,634,915	1.05	1.15	▲ 0.01	▲ 0.08

10. 被保険者の年齢階級別標準賞与額0円の割合

標準賞与額について、支給額が0円の被保険者の割合を年齢階級別に示したものが表13である。総数でみると、協会は0.361、組合は0.177となっており、協会の方が組合よりも割合が高くなっている。

次に男女別、年齢階級別にみると、男性については協会、組合ともに年齢の上昇に伴い、いったん割合は減少したのち、再び上昇する傾向にある。最も割合の低い年齢階級は、協会が30歳以上35歳未満で0.280、組合が45歳以上50歳未満で0.090となっており、逆に最も割合の高い年齢階級は、協会は75歳以上で0.911、組合は60歳以上65歳未満で0.244となっている。女性についても男性と同様の傾向であり、最も割合の低い年齢階級は、協会が25歳以上30歳未満で0.316、組合が55歳以上60歳未満で0.195となっており、逆に最も割合の高い年齢階級は、協会が75歳以上で0.936、組合が70歳以上75歳未満で0.424となっている。

表13 年齢階級別標準賞与額0円の被保険者の割合（平成20年10月1日現在）

年齢階級	協 会			組 合		
	総数	男性	女性	総数	男性	女性
総 数	0.361	0.363	0.356	0.177	0.130	0.284
15～19歳	0.350	0.325	0.376	0.222	0.166	0.311
20～24	0.329	0.324	0.335	0.241	0.191	0.297
25～29	0.303	0.294	0.316	0.214	0.158	0.301
30～34	0.294	0.280	0.319	0.203	0.131	0.331
35～39	0.309	0.294	0.337	0.161	0.099	0.308
40～44	0.329	0.323	0.339	0.147	0.106	0.263
45～49	0.336	0.339	0.333	0.142	0.090	0.279
50～54	0.353	0.361	0.342	0.128	0.104	0.198
55～59	0.384	0.394	0.366	0.133	0.115	0.195
60～64	0.517	0.525	0.496	0.248	0.244	0.267
65～69	0.647	0.659	0.614	0.203	0.191	0.258
70～74	0.763	0.764	0.761	0.208	0.172	0.424
75歳以上	0.920	0.911	0.936	—	—	—

（注）標準賞与額0円の割合については、任意継続被保険者及び特例退職被保険者を除いて算出している。

1 1. 年齢階級別、被保険者期間別構成等

被保険者期間（資格取得後平成20年10月1日までの期間）が1年未満か、1年以上かにより、年齢階級別に被保険者の総数に対する割合を示したものが表14である。

被保険者期間1年未満の割合は、年齢階級総数で協会19.7%、組合17.1%となっており、年齢の上昇に伴いおおむね減少する傾向にあるが、学卒者の新規加入の影響により、25歳未満で1年未満の被保険者が多くなっており、特に20歳未満では、協会・組合ともに7割を超えている。また、定年後の再就職による加入の影響により、60歳以上65歳未満の1年未満の被保険者の割合は、前後の年齢階級と比べて多くなっている。

表14 年齢階級別、被保険者期間別被保険者構成（平成20年10月1日現在）
(単位：％)

年齢階級	協 会			組 合		
	総数	1年未満	1年以上	総数	1年未満	1年以上
総 数	100.0	19.7	80.3	100.0	17.1	82.9
15～19歳	100.0	74.6	25.4	100.0	73.8	26.2
20～24	100.0	41.2	58.8	100.0	43.8	56.2
25～29	100.0	26.5	73.5	100.0	23.2	76.8
30～34	100.0	20.0	80.0	100.0	17.6	82.4
35～39	100.0	17.6	82.4	100.0	13.8	86.2
40～44	100.0	16.5	83.5	100.0	12.2	87.8
45～49	100.0	14.8	85.2	100.0	11.0	89.0
50～54	100.0	13.3	86.7	100.0	8.1	91.9
55～59	100.0	12.3	87.7	100.0	8.0	92.0
60～64	100.0	20.2	79.8	100.0	20.7	79.3
65～69	100.0	15.0	85.0	100.0	7.3	92.7
70～74	100.0	10.3	89.7	100.0	1.7	98.3
75歳以上	100.0	5.1	94.9	－	－	－

次に、被保険者期間別に年齢階級別平均標準報酬月額について比較したものが表15である。

平均標準報酬月額の被保険者期間による比率は、年齢階級総数をみると組合の方が若干大きい。また、年齢階級別にみると、協会は30歳未満、組合は25歳未満における比率は比較的小さいが、それ以上になると比率は大きくなり、協会、組合ともに70歳以上75歳未満の階級で最も大きくなっている。また、50歳以上では、組合よりも協会の方がおおむね比率が大きい傾向にある。

表15 年齢階級別、被保険者期間別平均標準報酬月額（平成20年10月1日現在）

年齢階級	協 会			組 合		
	1年未満 ①	1年以上 ②	比率 ②／①	1年未満 ③	1年以上 ④	比率 ④／③
	円	円		円	円	
総 数	228,378	301,581	1.321	276,181	392,588	1.421
15～19歳	166,499	185,313	1.113	177,803	218,333	1.228
20～24	191,543	208,332	1.088	211,834	237,799	1.123
25～29	217,161	242,211	1.115	245,699	289,781	1.179
30～34	237,928	277,665	1.167	280,030	339,390	1.212
35～39	249,104	309,492	1.242	303,222	395,381	1.304
40～44	251,806	328,236	1.304	337,966	449,512	1.330
45～49	250,360	334,401	1.336	338,141	470,823	1.392
50～54	247,520	335,780	1.357	352,121	477,081	1.355
55～59	246,025	330,845	1.345	366,446	468,068	1.277
60～64	230,399	309,719	1.344	306,337	367,921	1.201
65～69	208,853	286,750	1.373	267,105	299,638	1.122
70～74	201,754	284,400	1.410	165,000	283,578	1.719
75歳以上	242,840	234,501	0.966	－	－	－

12. 業態別被保険者構成割合、扶養率等

業態別にみた被保険者の構成割合、扶養率、平均標準報酬月額及び平均標準賞与額を示したのが表16である。

業態の大分類による被保険者総数に占める割合を高い順にみると、協会は製造業の20.9%、サービス業の16.9%、卸売・小売業の15.6%、組合は製造業の33.6%（うち機械器具が17.2%）、卸売・小売業の14.0%、サービス業の13.9%となっている。

扶養率の高い業態は、協会では建設業の1.110、鉱業の1.099、組合では鉱業の1.667、電気・ガス・水道業の1.533であり、逆に低い業態は、協会では公務の0.302、組合では医療・福祉の0.518となっている。

平均標準報酬月額の最も高い業態は、協会では情報通信業の336,939円、組合では電気・ガス・水道業の504,274円であり、逆に最も低い業態は、協会では公務の183,328円、組合では飲食店・宿泊業の279,357円となり、また、最高額と最低額との比率は、協会は約1.84倍、組合は約1.81倍となっている。

また、平均標準賞与額の最も高い業態は、協会、組合ともに電気・ガス・水道業であり、それぞれ632,136円、1,862,265円である。逆に最も低い業態は、協会では公務の159,961円、組合では飲食店・宿泊業の469,239円となり、また、最高額と最低額との比率は、協会が約3.95倍、組合が約3.97倍となっている。

表16 業態別被保険者構成割合、扶養率、平均標準報酬月額及び平均標準賞与額（平成20年10月1日現在）

業 態 別	協 会				組 合			
	構成割合	扶養率	平均標準報酬月額	平均標準賞与額	構成割合	扶養率	平均標準報酬月額	平均標準賞与額
	%		円	円	%		円	円
総 数	100.0	0.763	287,137	422,111	100.0	0.893	372,655	1,084,692
農 林 水 産 業	0.7	0.887	265,489	360,807	0.2	0.821	318,357	1,088,250
鉱 業	0.2	1.099	317,265	428,401	0.0	1.667	385,000	1,636,167
建 設 業	9.3	1.110	323,649	332,251	2.7	1.208	415,563	1,242,371
製 造 業	20.9	0.826	295,987	512,003	33.6	1.057	394,762	1,368,708
食 料 品	3.6	0.675	253,286	381,193	1.9	0.939	350,234	989,056
繊維工業・繊維製品	1.3	0.576	238,333	273,903	0.6	0.624	287,772	583,812
木 材 ・ 木 製 品	0.8	0.904	273,563	302,140	0.2	0.945	364,877	785,575
化 学 工 業	2.3	0.898	309,340	602,759	5.4	1.068	402,937	1,463,133
金 属 工 業	2.9	0.938	325,708	583,642	2.3	1.047	388,621	1,442,977
機 械 器 具	7.0	0.859	309,710	607,091	17.2	1.102	403,951	1,475,410
そ の 他	3.2	0.848	306,166	470,389	6.1	1.010	390,094	1,177,457
卸 売 ・ 小 売 業	15.6	0.794	294,237	418,314	14.0	0.786	328,915	834,847
金 融 ・ 保 険 業	0.8	0.908	332,505	614,169	7.6	0.869	412,895	1,355,562
不 動 産 業	1.6	0.772	316,761	372,879	1.2	0.864	406,867	959,146
運 輸 業	7.1	0.999	285,372	271,032	6.8	1.080	374,940	882,799
情 報 通 信 業	2.5	0.706	336,939	410,663	8.1	0.720	415,738	868,550
電 気 ・ ガ ス ・ 水 道 業	0.5	1.083	322,162	632,136	1.4	1.533	504,274	1,862,265
飲 食 店 ・ 宿 泊 業	2.9	0.633	259,630	210,832	1.2	0.573	279,357	469,239
医 療 ・ 福 祉	14.0	0.438	268,860	561,336	2.2	0.518	363,463	917,020
教 育 ・ 学 習 支 援 業	1.5	0.475	264,962	393,350	0.3	0.720	399,944	1,209,579
複 合 サ ー ビ ス 業	1.4	0.745	236,026	518,910	1.2	0.860	338,102	1,021,624
サ ー ビ ス 業	16.9	0.708	284,092	367,107	13.9	0.599	320,445	660,598
公 務	2.1	0.302	183,328	159,961	1.7	1.025	418,427	1,499,875
任 意 継 続 分	2.0	0.909	221,753	・	2.0	0.840	306,600	・
特 例 退 職 分	・	・	・	・	1.7	0.846	260,489	・

（注）業態別総数における平均標準賞与額については、任意継続被保険者及び特例退職被保険者を除いて算出している。

13. 規模別被保険者構成割合、扶養率等

事業所の従業員数（規模）別にみた被保険者の構成割合、扶養率、平均標準報酬月額及び平均標準賞与額を示したものが表17である。

被保険者構成割合が高い規模は、協会では規模100人以上300人未満の17.3%であり、また、規模100人未満の割合は62.2%となっている。一方、組合では規模1,000人以上が49.0%と最も高く、また、規模100人以上の割合は84.1%と、協会とは逆の傾向にある。

規模別の扶養率は、協会は規模が大きくなるにつれ扶養率はおおむね減少の傾向にあり、規模5人未満の0.863が最も高くなっている。一方、組合は規模の違いによるはっきりとした傾向はみられないが、その中でも規模1,000人以上が0.957と最も高くなっている。

規模と平均標準報酬月額との関係をみると、協会は規模5人以上10人未満、組合は10人以上20人未満でピークを迎えたのち減少となるが、組合についてはその後再び上昇し、規模1,000人以上の395,007円が最も高くなっている。

また、規模と平均標準賞与額との関係をみると、協会、組合とも規模が大きくなるに伴い高くなる傾向にあるが、協会は規模500人以上1000人未満から低下しており、協会では規模300人以上500人未満の572,078円、組合では規模1,000人以上の1,299,232円が最も高くなっている。

表17 事業所の規模別被保険者構成割合、扶養率、平均標準報酬月額
及び平均標準賞与額（平成20年10月1日現在）

規 模 別	協 会				組 合			
	構成割合	扶養率	平均標準報酬月額	平均標準賞与額	構成割合	扶養率	平均標準報酬月額	平均標準賞与額
	%		円	円	%		円	円
総 数	100.0	0.763	287,137	422,111	100.0	0.893	372,655	1,084,692
1～4人	8.2	0.863	286,789	156,535	0.4	0.702	357,362	365,730
5～9	10.5	0.823	311,299	273,557	0.7	0.794	364,239	468,564
10～19	12.8	0.826	309,013	352,930	1.5	0.866	388,076	558,317
20～29	7.9	0.802	298,283	405,634	1.4	0.819	363,556	589,083
30～49	9.7	0.796	291,007	431,824	2.6	0.811	360,621	661,161
50～99	13.1	0.743	279,297	470,622	5.5	0.815	353,364	748,688
100～299	17.3	0.706	277,022	528,853	14.6	0.819	347,232	858,587
300～499	6.2	0.680	278,687	572,078	8.6	0.862	353,451	947,375
500～999	5.9	0.673	278,307	566,194	11.9	0.838	364,128	1,013,767
1,000人以上	6.5	0.625	265,313	485,881	49.0	0.957	395,007	1,299,232
任意継続分	2.0	0.909	221,753	・	2.0	0.840	306,600	・
特例退職分	・	・	・	・	1.7	0.846	260,489	・

（注）規模別総数における平均標準賞与額については、任意継続被保険者及び特例退職被保険者を除いて算出している。

1 4. 被保険者数の推移について

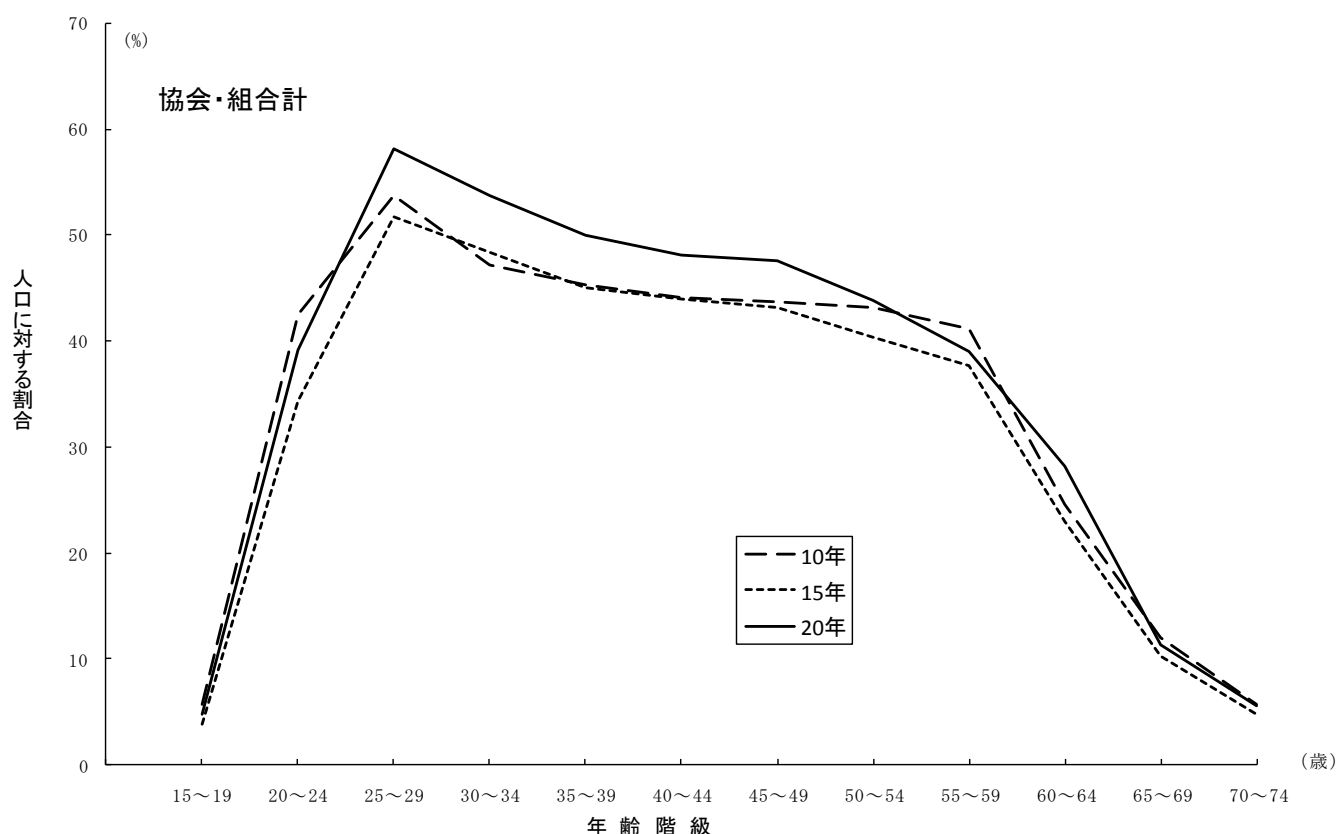
1) 被保険者数の総人口に対する割合について

総人口に対する被保険者数の割合（以下、「被保険者割合」という。）の推移を男女計について年齢階級別に示したものが図8－1、8－2である。

被保険者割合を協会と組合の計でみると、平成10年から15年にかけては20歳代及び50歳代以降で減少しているが、平成15年から20年にかけては全ての年齢階級で増加しており、これらはそれぞれの期間の雇用環境の悪化と改善が影響しているものと考えられる。

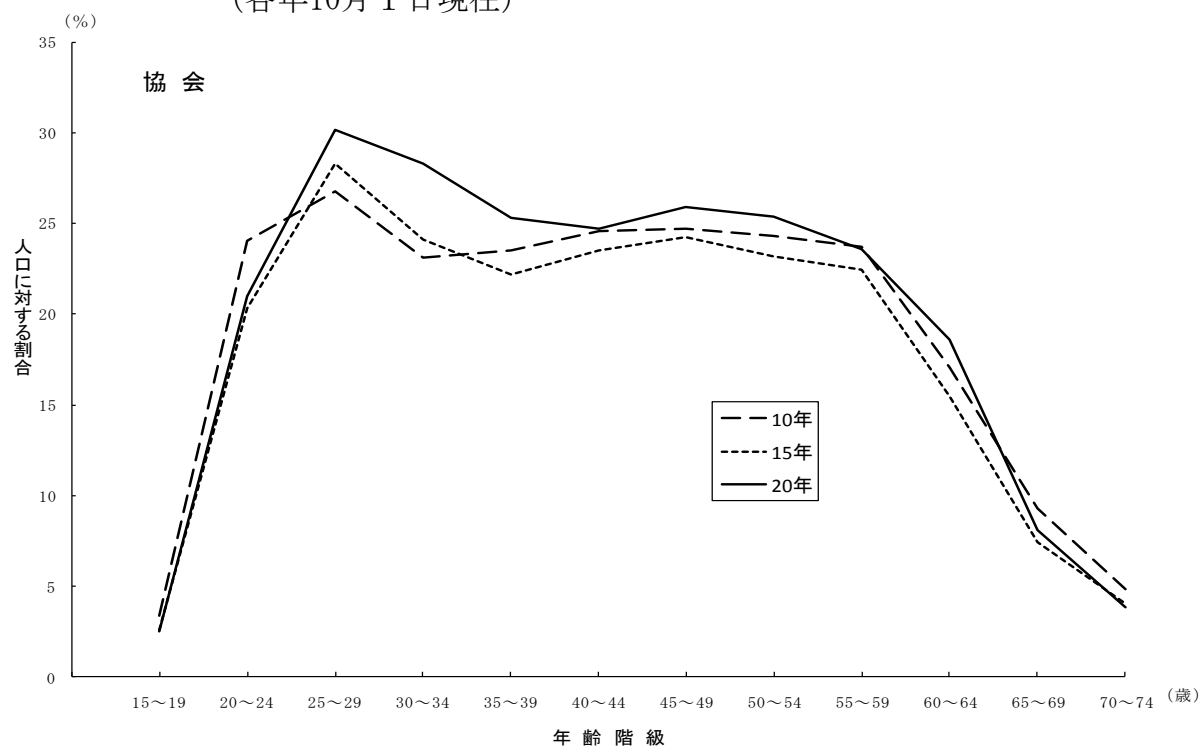
また、被保険者割合を協会と組合のそれぞれについてみると、協会の20歳代後半を除き、同様の傾向を示しているが、平成10年から15年にかけては協会よりも組合の方が20歳代の減少幅が大きくなっており、平成15年から20年にかけては、協会より組合の方が増加幅が大きくなっている。

図8－1 年齢階級別にみた被保険者数（男女計）の総人口に対する割合の推移
（各年10月1日現在）

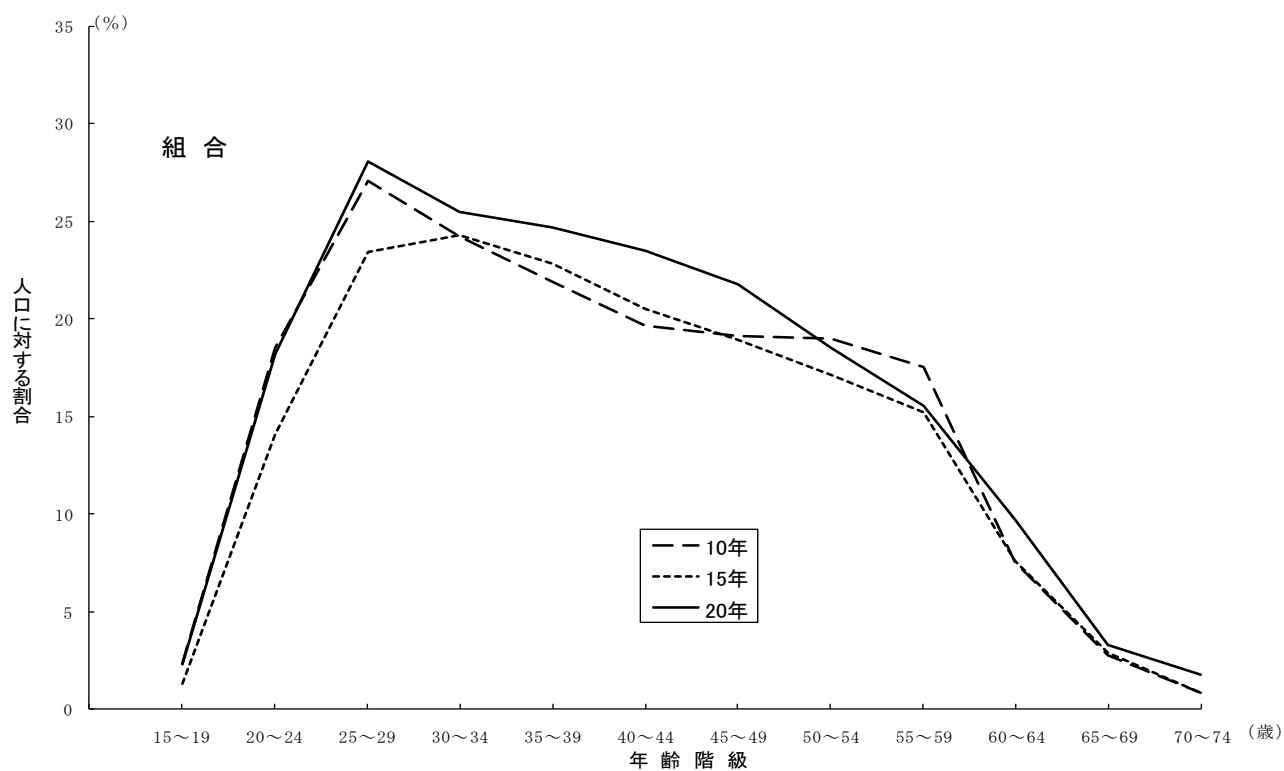


（注）被保険者数は、調査結果に抽出倍率を乗じたものとしている。

図8－2 年齢階級別にみた被保険者数（男女計）の総人口に対する割合の推移
（各年10月1日現在）



（注）被保険者数は、調査結果に抽出倍率を乗じたものとしている。



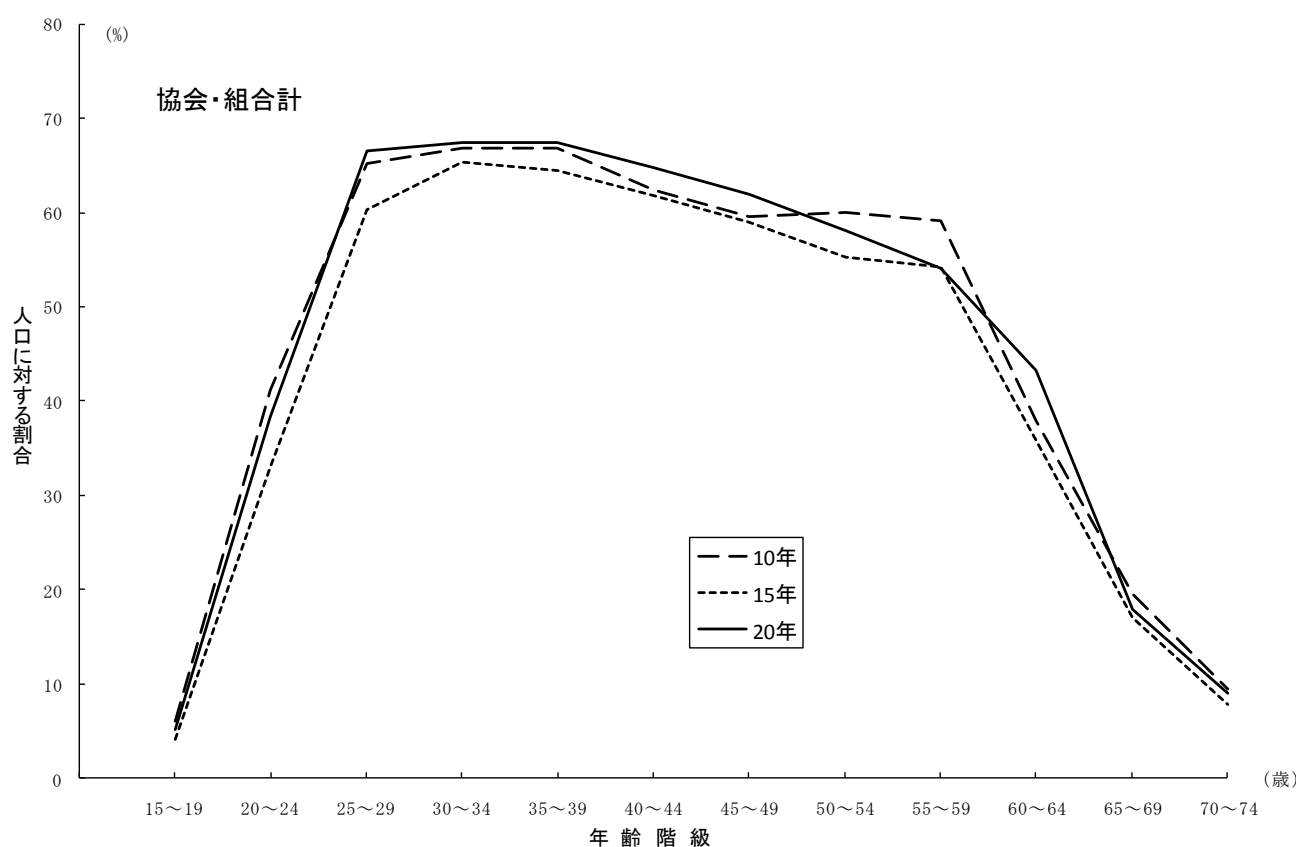
（注）被保険者数は、調査結果に抽出倍率を乗じたものとしている。

男性人口に対する男性被保険者数の割合の推移を年齢階級別に示したものが図9-1、9-2である。

男性について被保険者割合を協会と組合との計でみると、平成10年から平成15年にかけては全年齢階級で減少、平成15年から平成20年にかけては全年齢階級で増加しており、それぞれの期間の雇用環境の悪化と改善が影響しているものと考えられる。

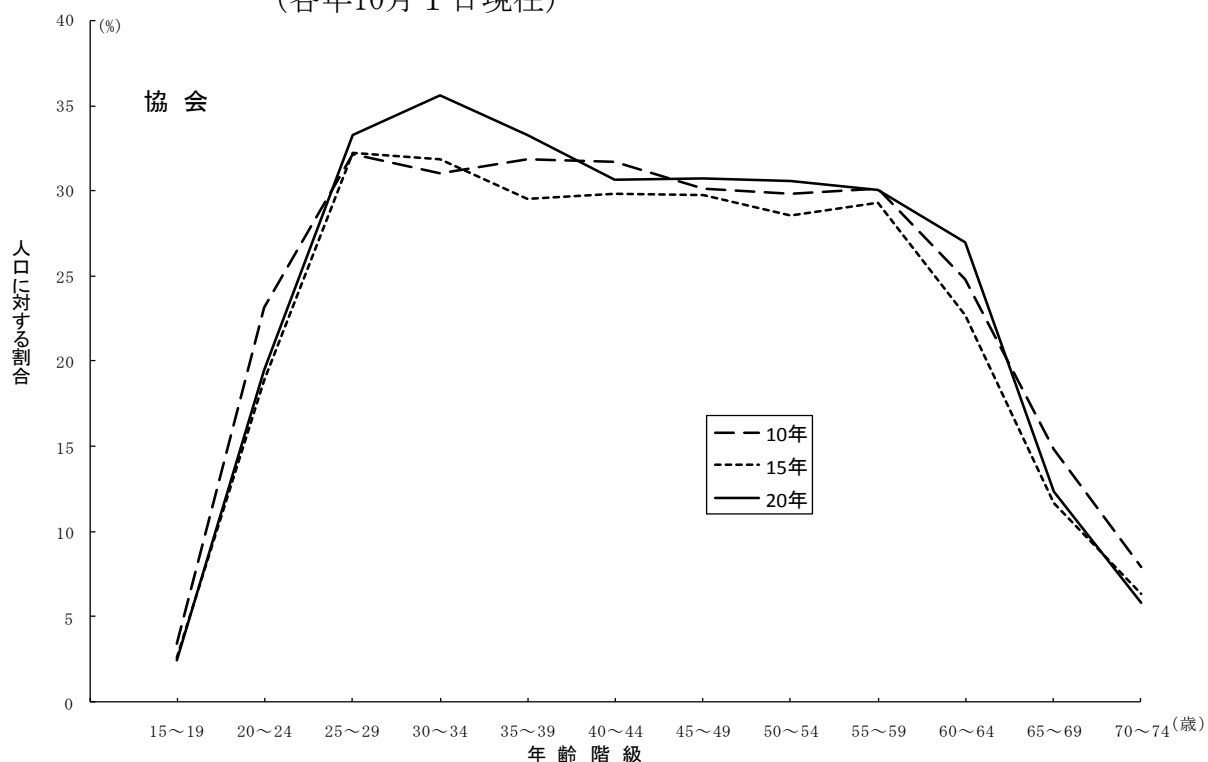
また、男性人口に対する被保険者割合を協会と組合のそれぞれについてみると、平成10年から15年にかけては協会よりも組合の方が20歳代の減少幅が大きくなっており、平成15年から20年にかけては、協会より組合の方が20歳代の増加幅が大きくなっている。

図9-1 年齢階級別にみた男性被保険者数の男性人口に対する割合の推移
(各年10月1日現在)

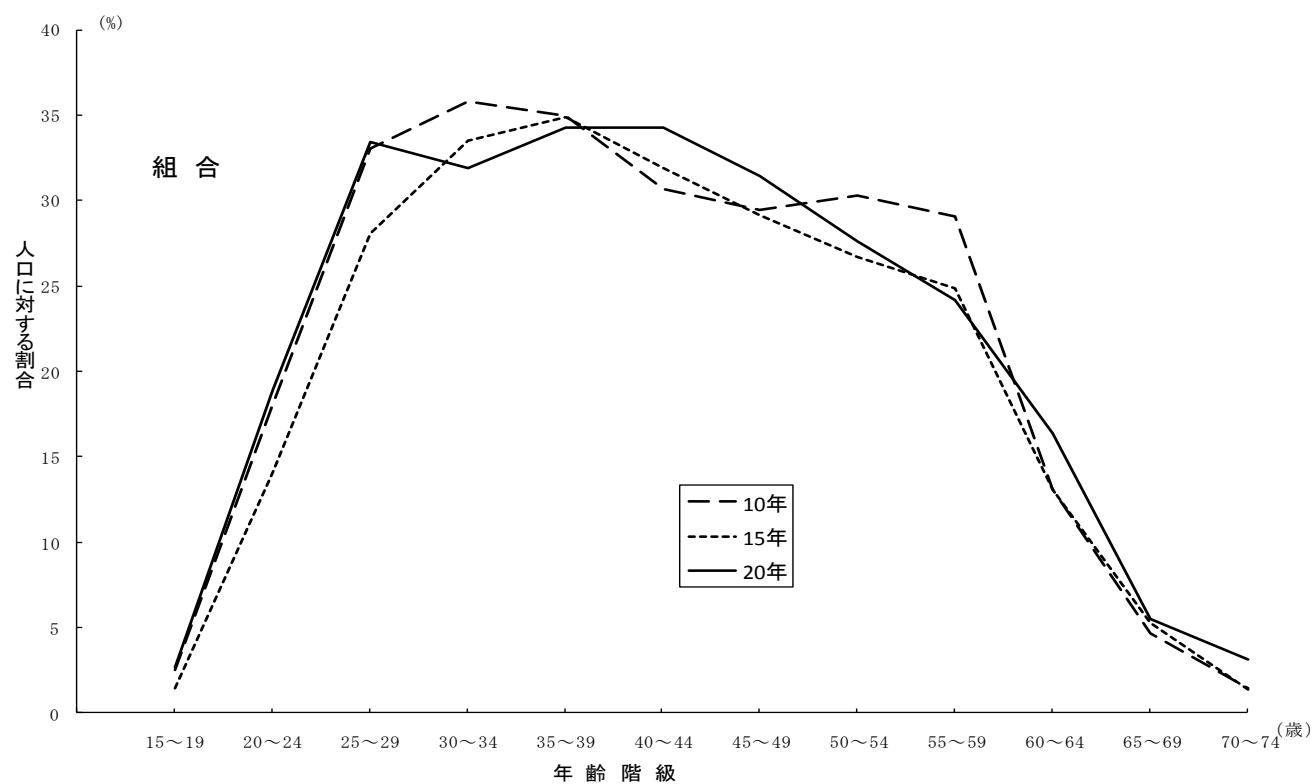


(注) 被保険者数は、調査結果に抽出倍率を乗じたものとしている。

図 9 - 2 年齢階級別にみた男性被保険者数の男性人口に対する割合の推移
(各年10月 1 日現在)



(注) 被保険者数は、調査結果に抽出倍率を乗じたものとしている。



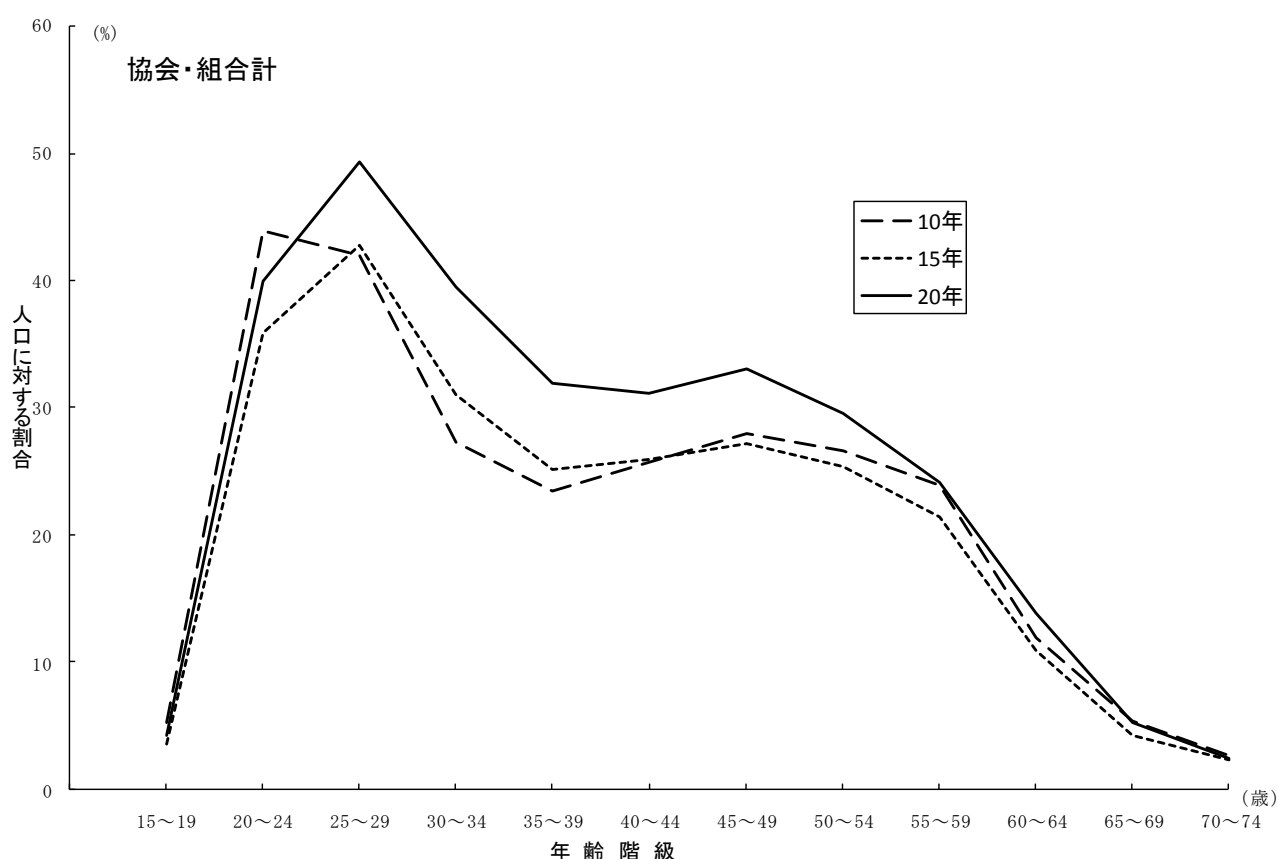
(注) 被保険者数は、調査結果に抽出倍率を乗じたものとしている。

女性人口に対する女性被保険者数の割合の推移を年齢階級別に示したものが図10－1、10－2である。

女性について被保険者割合を協会と組合との計でみると、平成10年から平成15年にかけては男性とは異なり、20歳代後半から40歳代前半にかけて、増加がみられる。平成15年から平成20年にかけては全年齢階級で増加しており、30歳代から50歳代にかけては増加の幅が男性よりも大きくなっている。これらはそれぞれの期間の雇用環境の変化が男性と同様にあるとともに、被用者として就労する女性が増加したことが大きく影響しているものと考えられる。

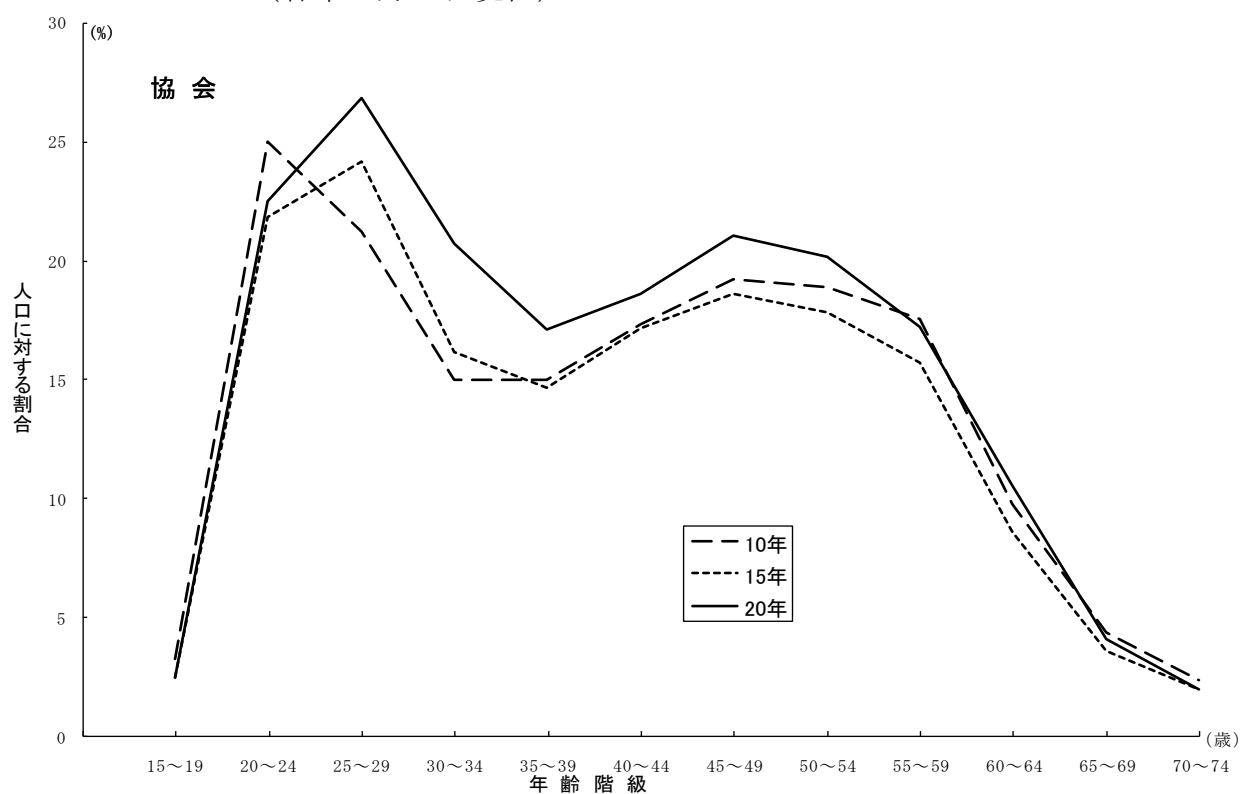
また、女性人口に対する被保険者割合を協会と組合に分け、それぞれを平成20年についてみると、協会、組合ともに25歳以上30歳未満でピークを迎えるが、組合はその後減少し続けるのに対し、協会は40歳代で再び増加に転じ、45歳以上50歳未満で再びピークを迎えた後に減少に転じている。

図10－1 年齢階級別にみた女性被保険者数の女性人口に対する割合の推移
(各年10月1日現在)

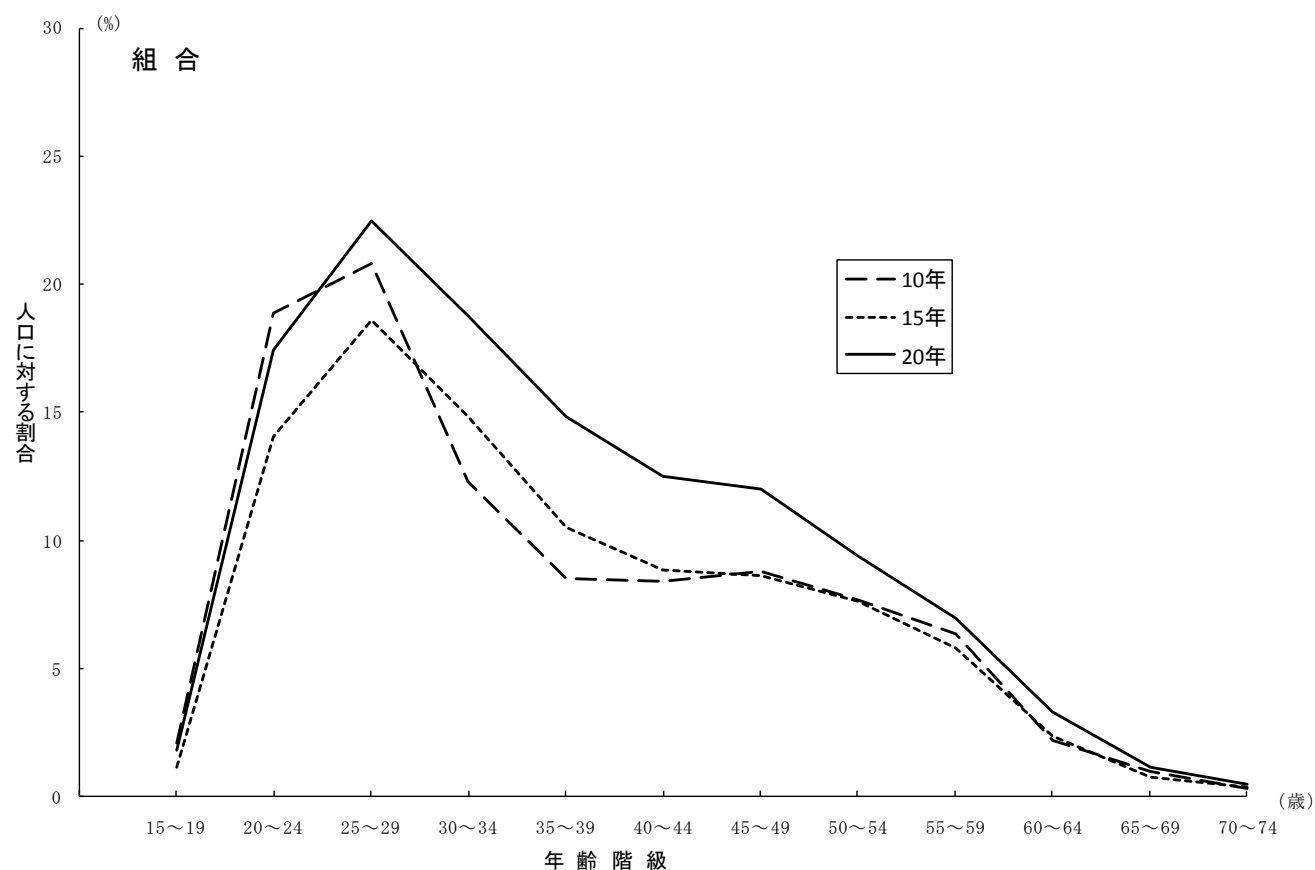


(注) 被保険者数は、調査結果に抽出倍率を乗じたものとしている。

図10－2 年齢階級別にみた女性被保険者数の女性人口に対する割合の推移
(各年10月1日現在)



(注) 被保険者数は、調査結果に抽出倍率を乗じたものとしている。



(注) 被保険者数は、調査結果に抽出倍率を乗じたものとしている。

2) コーホートでみた被保険者数の総人口に対する割合について

総人口に対する被保険者数の割合をコーホート別の推移で示したものが、表18である。

協会と組合計の被保険者割合をコーホートでみると、学卒者の新規加入の影響により20歳代で大きく増加し、定年退職の影響で60歳代で大きく減少している。被保険者割合が増加したのは、平成10年から平成15年にかけては35歳未満のコーホートであったが、平成15年から平成20年にかけては55歳未満のコーホートまでに拡大している。

コーホートでみた増減の差を協会と組合の計でみると、全ての年齢階級で増加しており、これは雇用環境の改善の影響と考えられる。特に、25歳以上30歳未満が14.6%、60歳以上65歳未満が8.8%と大きくプラスとなっており、若年層の雇用改善と高齢者雇用の進展がみられる。

また、被保険者割合を協会と組合に分け、それぞれをみると、どちらも協会と組合の計と同様の傾向を示しているが、コーホートでみた増減の差をみると、20歳代については協会より組合の方が大きくなっている一方、35歳以降については組合より協会の方が大きくなっている。

表18 コーホートでみた被保険者数の総人口に対する割合（各年10月1日現在）

(1) 協会・組合計（総数）

年齢階級	総人口に対する割合			コーホートでみた増減		
	平成10年	15年	20年	10年→15年①	15年→20年②	差 ②－①
	%	%	%			
15～19歳	5.6	3.8	4.7	-	-	-
20～24	42.5	34.4	39.2	28.7	35.3	6.6
25～29	53.8	51.7	58.2	9.2	23.8	14.6
30～34	47.3	48.4	53.7	-5.5	2.0	7.4
35～39	45.4	45.0	50.0	-2.3	1.6	3.9
40～44	44.2	44.0	48.2	-1.4	3.2	4.6
45～49	43.8	43.1	47.6	-1.0	3.6	4.7
50～54	43.3	40.3	43.8	-3.5	0.7	4.2
55～59	41.2	37.6	39.0	-5.7	-1.3	4.4
60～64	24.5	23.0	28.2	-18.2	-9.4	8.8
65～69	12.0	10.3	11.3	-14.2	-11.7	2.5
70～74	5.6	4.8	5.5	-7.2	-4.8	2.4

(注) 被保険者数は、調査結果に抽出倍率を乗じたものとしている。

(2) 協会 (総数)

年齢階級	総人口に対する割合			コーホートでみた増減		
	平成10年	15年	20年	10年→15年①	15年→20年②	差 ②－①
	%	%	%			
15～19歳	3.4	2.6	2.5	-	-	-
20～24	24.1	20.3	21.0	17.0	18.4	1.4
25～29	26.8	28.3	30.1	4.2	9.8	5.6
30～34	23.1	24.1	28.3	-2.7	0.0	2.6
35～39	23.5	22.2	25.3	-1.0	1.2	2.2
40～44	24.6	23.5	24.7	0.0	2.5	2.5
45～49	24.7	24.2	25.9	-0.4	2.4	2.7
50～54	24.3	23.2	25.4	-1.5	1.1	2.6
55～59	23.7	22.4	23.5	-1.9	0.3	2.3
60～64	17.0	15.4	18.6	-8.3	-3.9	4.4
65～69	9.3	7.4	8.0	-9.6	-7.4	2.2
70～74	4.8	4.0	3.8	-5.3	-3.6	1.6

(注) 被保険者数は、調査結果に抽出倍率を乗じたものとしている。

(3) 組合 (総数)

年齢階級	総人口に対する割合			コーホートでみた増減		
	平成10年	15年	20年	10年→15年①	15年→20年②	差 ②－①
	%	%	%			
15～19歳	2.3	1.3	2.3	-	-	-
20～24	18.5	14.1	18.2	11.8	16.9	5.2
25～29	27.1	23.4	28.1	5.0	14.0	9.0
30～34	24.2	24.3	25.4	-2.8	2.0	4.8
35～39	21.9	22.8	24.7	-1.4	0.4	1.8
40～44	19.6	20.5	23.5	-1.4	0.7	2.1
45～49	19.1	18.9	21.8	-0.7	1.3	2.0
50～54	19.0	17.1	18.5	-2.0	-0.4	1.6
55～59	17.5	15.2	15.5	-3.8	-1.6	2.1
60～64	7.5	7.6	9.7	-9.9	-5.5	4.4
65～69	2.7	2.8	3.2	-4.6	-4.3	0.3
70～74	0.8	0.8	1.7	-1.9	-1.1	0.8

(注) 被保険者数は、調査結果に抽出倍率を乗じたものとしている。

男性人口に対する男性被保険者数の割合をコーホート別の推移で示したものが、表19である。

被保険者割合をコーホートでみると、男女総数と同様に、学卒者の新規加入の影響により20歳代で大きく増加し、定年退職の影響で60歳代で大きく減少している。協会と組合の計で被保険者割合が増加したのは、平成10年から平成15年にかけては35歳未満のコーホートであったが、平成15年から平成20年にかけては50歳未満のコーホートまでに拡大している。

コーホートでみた増減の差を協会と組合の計でみると、全ての年齢階級で増加しており、雇用環境の改善の影響と考えられる。特に25歳以上30歳未満が14.6%と大きくプラスになっており、若年層の雇用改善が進んでいることがみられる。また、男女総数と比べ60歳以上65歳未満が12.5%と大きくプラスとなっており、高齢者雇用の進展については特に男性被保険者においてみられることが分かる。

また、被保険者割合を協会と組合に分け、それぞれをみると、どちらも協会と組合の計と同様の傾向を示しているが、コーホートでみた増減をみると、協会は65歳以上70歳未満で大きく減少するのに対し、組合については60歳から大きく減少し始め、退職の時期が協会と組合とで異なっているものと考えられる。。

表19 コーホートでみた男性被保険者数の男性人口に対する割合（各年10月1日現在）

（１）協会・組合計（男性）

年齢階級	総人口に対する割合			コーホートでみた増減		
	平成10年	15年	20年	10年→15年①	15年→20年②	差 ②－①
	%	%	%			
15～19歳	6.0	4.0	5.2	-	-	-
20～24	41.2	33.0	38.4	26.9	34.3	7.4
25～29	65.3	60.4	66.7	19.2	33.7	14.6
30～34	66.9	65.4	67.5	0.1	7.2	7.0
35～39	66.8	64.5	67.6	-2.4	2.2	4.6
40～44	62.4	61.8	64.9	-5.0	0.4	5.5
45～49	59.6	58.9	62.1	-3.5	0.3	3.8
50～54	60.1	55.3	58.2	-4.3	-0.7	3.5
55～59	59.2	54.2	54.2	-5.9	-1.1	4.8
60～64	37.9	35.8	43.4	-23.4	-10.8	12.5
65～69	19.5	16.9	17.9	-21.0	-17.9	3.1
70～74	9.4	7.8	9.0	-11.7	-7.9	3.9

（注）被保険者数は、調査結果に抽出倍率を乗じたものとしている。

(2) 協会 (男性)

年齢階級	総人口に対する割合			コーホートでみた増減		
	平成10年	15年	20年	10年→15年①	15年→20年②	差 ②－①
	%	%	%			
15～19歳	3.5	2.6	2.5	-	-	-
20～24	23.1	18.9	19.5	15.4	16.9	1.4
25～29	32.1	32.3	33.3	9.1	14.4	5.2
30～34	31.0	31.9	35.6	-0.3	3.3	3.6
35～39	31.8	29.6	33.3	-1.5	1.4	2.9
40～44	31.7	29.8	30.7	-2.0	1.1	3.1
45～49	30.1	29.8	30.7	-1.9	0.9	2.8
50～54	29.8	28.6	30.6	-1.5	0.8	2.3
55～59	30.1	29.3	30.0	-0.5	1.4	1.9
60～64	24.8	22.7	27.0	-7.4	-2.3	5.0
65～69	14.8	11.7	12.3	-13.1	-10.4	2.7
70～74	8.0	6.4	5.9	-8.4	-5.8	2.6

(注) 被保険者数は、調査結果に抽出倍率を乗じたものとしている。

(3) 組合 (男性)

年齢階級	総人口に対する割合			コーホートでみた増減		
	平成10年	15年	20年	10年→15年①	15年→20年②	差 ②－①
	%	%	%			
15～19歳	2.5	1.4	2.7	-	-	-
20～24	18.1	14.1	18.9	11.5	17.5	6.0
25～29	33.1	28.1	33.4	10.0	19.4	9.3
30～34	35.9	33.5	31.9	0.4	3.8	3.4
35～39	35.0	34.9	34.3	-0.9	0.7	1.7
40～44	30.7	32.0	34.3	-3.1	-0.7	2.4
45～49	29.5	29.2	31.4	-1.5	-0.5	1.0
50～54	30.4	26.7	27.6	-2.8	-1.5	1.2
55～59	29.1	24.9	24.2	-5.5	-2.5	2.9
60～64	13.1	13.1	16.4	-16.0	-8.5	7.5
65～69	4.7	5.2	5.6	-7.9	-7.5	0.4
70～74	1.5	1.4	3.2	-3.3	-2.0	1.3

(注) 被保険者数は、調査結果に抽出倍率を乗じたものとしている。

女性人口に対する女性被保険者数の割合をコーホート別の推移で示したものが、表20である。

被保険者割合をコーホートでみると、学卒者の新規加入の影響により20歳代前半で大きく増加した後、結婚、出産の影響により一度減少するが、その後、再就職により増加した後、定年退職の影響で大きく減少している。

コーホートでみた増減の差を協会と組合の計でみると、男性と同様に全ての年齢階級で増加している。特に、25歳以上30歳未満が14.6%と大きくプラスになっており、若年層の雇用改善が進んでいることがみられる。

また、被保険者割合を協会と組合に分け、それぞれをみると、どちらも協会と組合の計と同様の傾向を示しているが、コーホートでみた増減をみると、平成15年から20年にかけての30歳以上35歳未満について、協会は平成10年から15年にかけてと同様、マイナスとなっているが、組合はプラスとなっており、特に組合について、働き続ける女性被保険者の増加が考えられる。

表20 コーホートでみた女性被保険者数の女性人口に対する割合（各年10月1日現在）

（1）協会・組合計（女性）

年齢階級	総人口に対する割合			コーホートでみた増減		
	平成10年	15年	20年	10年→15年①	15年→20年②	差 ②－①
	%	%	%			
15～19歳	5.3	3.6	4.2	-	-	-
20～24	43.9	35.9	40.0	30.6	36.4	5.8
25～29	42.0	42.8	49.3	-1.1	13.4	14.6
30～34	27.3	31.0	39.5	-11.0	-3.3	7.7
35～39	23.5	25.2	31.9	-2.1	0.9	3.0
40～44	25.7	26.0	31.1	2.5	6.0	3.5
45～49	28.0	27.2	33.0	1.5	7.0	5.6
50～54	26.6	25.4	29.5	-2.6	2.3	4.9
55～59	23.8	21.5	24.2	-5.1	-1.3	3.9
60～64	11.9	10.9	13.8	-12.9	-7.7	5.2
65～69	5.3	4.3	5.2	-7.7	-5.7	1.9
70～74	2.6	2.3	2.4	-3.0	-1.8	1.1

（注）被保険者数は、調査結果に抽出倍率を乗じたものとしている。

(2) 協会 (女性)

年齢階級	総人口に対する割合			コーホートでみた増減		
	平成10年	15年	20年	10年→15年①	15年→20年②	差 ②－①
	%	%	%			
15～19歳	3.2	2.5	2.5	-	-	-
20～24	25.0	21.8	22.5	18.6	20.0	1.5
25～29	21.2	24.2	26.9	-0.9	5.0	5.9
30～34	15.0	16.2	20.7	-5.0	-3.5	1.6
35～39	15.0	14.7	17.1	-0.4	0.9	1.3
40～44	17.4	17.1	18.6	2.1	4.0	1.8
45～49	19.3	18.6	21.0	1.3	3.9	2.6
50～54	18.9	17.8	20.1	-1.4	1.5	2.9
55～59	17.5	15.7	17.2	-3.2	-0.6	2.6
60～64	9.8	8.6	10.5	-8.9	-5.2	3.8
65～69	4.4	3.6	4.1	-6.2	-4.5	1.7
70～74	2.4	2.0	2.0	-2.4	-1.6	0.8

(注) 被保険者数は、調査結果に抽出倍率を乗じたものとしている。

(3) 組合 (女性)

年齢階級	総人口に対する割合			コーホートでみた増減		
	平成10年	15年	20年	10年→15年①	15年→20年②	差 ②－①
	%	%	%			
15～19歳	2.0	1.1	1.8	-	-	-
20～24	18.9	14.1	17.4	12.0	16.3	4.3
25～29	20.8	18.6	22.5	-0.3	8.4	8.7
30～34	12.2	14.8	18.7	-6.0	0.1	6.1
35～39	8.5	10.5	14.8	-1.7	0.0	1.7
40～44	8.4	8.8	12.5	0.4	2.0	1.7
45～49	8.7	8.6	12.0	0.2	3.2	2.9
50～54	7.7	7.6	9.4	-1.2	0.8	1.9
55～59	6.3	5.7	7.0	-1.9	-0.6	1.3
60～64	2.2	2.3	3.3	-4.0	-2.5	1.5
65～69	0.9	0.7	1.1	-1.5	-1.2	0.2
70～74	0.3	0.3	0.4	-0.6	-0.3	0.3

(注) 被保険者数は、調査結果に抽出倍率を乗じたものとしている。

15. コーホートによる続柄別扶養率の分析について

1) 子の場合

各年度の男性被保険者における子の扶養率、コーホートでみた場合の扶養率の増減及びその差を示したものが表21である。

未婚率の増加や出生率の減少に伴い、同じ年齢階級でみると子の扶養率は年々減少しているが、その特徴を①20歳～30歳代、②40歳代以降の年齢階級別にコーホートでみると次のようになる。

① 20歳代～30歳代

この年代は、結婚に伴う子の誕生によって扶養率が増加している。平成15年～平成20年における扶養率の増減をみると、協会、組合ともに30歳以上35歳未満が最も大きく、次いで35歳以上40歳未満となっている。また、平成10年～平成15年と平成15年～平成20年の差をみると、協会は全ての年齢階級で減少、組合は20歳代前半を除いた全ての年齢階級で減少しており、これは少子化の影響と考えられる。

② 40歳代以降

40歳代以降は、子の成長により扶養率は減少している。平成20年における扶養率のピークは、協会、組合ともに45歳以上50歳未満となっているが、ピーク時の扶養率は、年々減少している。

また、平成15年～平成20年における扶養率の増減をみると、協会、組合ともに45歳以降は減少している。

表21 男性被保険者における子の扶養率（各年10月1日現在）

（１）協 会

年齢階級	扶 養 率			コーホートでみた扶養率の増減		
	平成10年	15年	20年	10～15①	15～20②	差 ②－①
総 数	0.730	0.702	0.648	-	-	-
15～19歳	0.011	0.015	0.015	-	-	-
20～24	0.084	0.110	0.098	0.099	0.083	-0.016
25～29	0.315	0.315	0.308	0.231	0.197	-0.034
30～34	0.827	0.698	0.666	0.383	0.351	-0.032
35～39	1.308	1.134	0.966	0.307	0.268	-0.039
40～44	1.537	1.410	1.179	0.102	0.045	-0.057
45～49	1.342	1.371	1.192	-0.167	-0.217	-0.051
50～54	0.859	0.884	0.880	-0.458	-0.491	-0.033
55～59	0.356	0.410	0.407	-0.449	-0.477	-0.028
60～64	0.143	0.168	0.179	-0.187	-0.231	-0.044
65～69	0.074	0.092	0.098	-0.051	-0.070	-0.020
70～74	0.046	0.058	0.067	-0.016	-0.025	-0.009

（２）組 合

年齢階級	扶 養 率			コーホートでみた扶養率の増減		
	平成10年	15年	20年	10～15①	15～20②	差 ②－①
総 数	0.817	0.799	0.724	-	-	-
15～19歳	0.015	0.000	0.006	-	-	-
20～24	0.055	0.055	0.062	0.041	0.062	0.022
25～29	0.225	0.224	0.222	0.169	0.167	-0.002
30～34	0.677	0.637	0.618	0.412	0.394	-0.018
35～39	1.257	1.100	0.973	0.423	0.336	-0.088
40～44	1.600	1.414	1.224	0.158	0.124	-0.034
45～49	1.482	1.485	1.343	-0.114	-0.072	0.042
50～54	1.009	1.053	1.008	-0.429	-0.478	-0.048
55～59	0.434	0.461	0.471	-0.548	-0.582	-0.034
60～64	0.191	0.165	0.190	-0.269	-0.271	-0.001
65～69	0.062	0.110	0.111	-0.081	-0.054	0.027
70～74	0.042	0.051	0.049	-0.011	-0.060	-0.050

2) 配偶者の場合

各年度の男性被保険者における配偶者の扶養率、コーホートでみた場合の扶養率の増減を示したものが表22である。後期高齢者医療制度の導入による影響を除くため、平成15年については、75歳以上の者を除いた扶養率を作成し比較している。

配偶者の扶養率を同じ年齢階級でみると、被用者として就労する女性の増加、非婚男性の増加などの影響により減少傾向にあるが、コーホートでみると次のようになる。

おおむね40歳頃までは、配偶者の扶養率は増加するが、その後一度減少した後再び増加し、65歳以上70歳未満で最も高くなる。

この変化の要因は、それぞれ40歳以降の減少は配偶者が働き始めるため、55歳前後からの増加は働いていた配偶者が退職するため、70歳以降の減少は75歳以上の配偶者が後期高齢者医療制度に適用され被扶養者でなくなるためと考えられる。

表22 男性被保険者における配偶者の扶養率（各年10月1日現在）

(1) 協 会

年齢階級	扶養率		コーホートでみた 扶養率の増減
	平成15年 (75歳以上配偶者を除く)	20年	15年～20年
総 数	0.450	0.416	-
15～19 歳	0.021	0.020	-
20～24	0.098	0.082	0.060
25～29	0.229	0.200	0.101
30～34	0.396	0.347	0.119
35～39	0.497	0.429	0.033
40～44	0.516	0.453	-0.044
45～49	0.496	0.447	-0.069
50～54	0.503	0.455	-0.041
55～59	0.555	0.511	0.008
60～64	0.637	0.606	0.051
65～69	0.664	0.643	0.006
70～74	0.601	0.583	-0.081

(2) 組 合

年齢階級	扶養率		コーホートでみた 扶養率の増減
	平成15年 (75歳以上配偶者を除く)	20年	15年～20年
総 数	0.526	0.485	-
15～19 歳	0.000	0.012	-
20～24	0.047	0.060	0.060
25～29	0.187	0.165	0.118
30～34	0.433	0.374	0.187
35～39	0.561	0.493	0.060
40～44	0.636	0.567	0.006
45～49	0.631	0.604	-0.033
50～54	0.667	0.609	-0.022
55～59	0.705	0.680	0.013
60～64	0.774	0.736	0.031
65～69	0.789	0.798	0.023
70～74	0.705	0.759	-0.030